

平成24年度第1回 八王子市市史編集委員会

日 時：平成24年7月13日（金）

午前10時から12時まで

会 場：八王子駅南口総合事務所会議室

【議 題】

1. 平成23年度編集・刊行過程での主な課題及びその検証について

- 資料1 平成24年度市史編さん事業の組織体制（平成24年7月現在）
- 資料2 平成23年度編集・刊行過程での主な課題及びその検証
- 資料3 刊行物販売実績・無償配付先・掲載記事一覧
- 資料4 市史編集専門部会調査活動報告

2. 平成24年度刊行予定について

- 資料5 平成24年度編集・刊行スケジュール
- 資料6 「資料編1 原始・古代」及び「資料編3 近世1」の章立て・目次案
- 資料7 市史研究第3号割付表

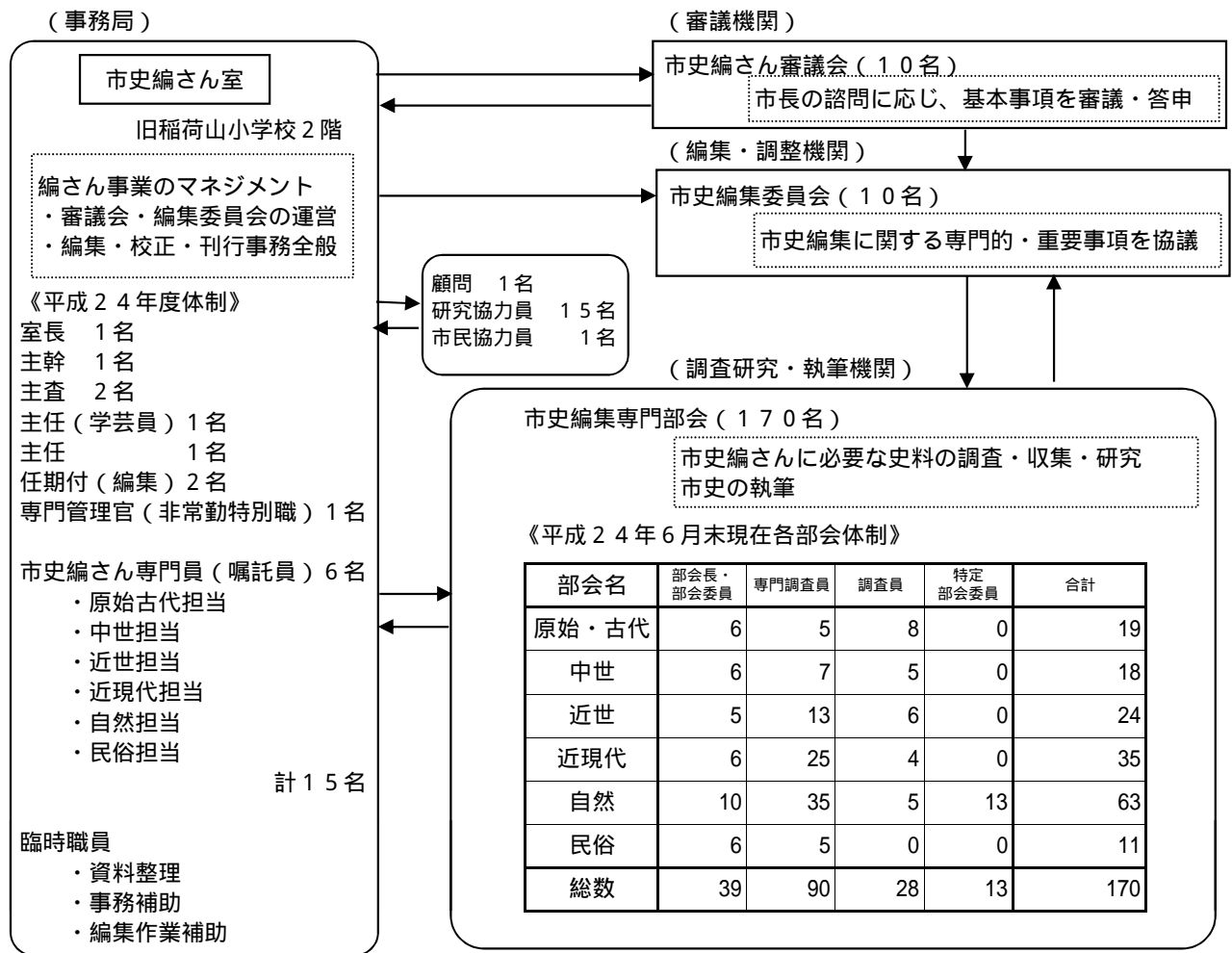
3. 市政モニターへ設問項目について

- 資料8 市政モニターへの設問の基本的考え方及び設問項目

4. その他

- 資料9 「広報はちおうじ8月1日号」における特集記事
 - 〃 市史編集職員研修の開催
 - 〃 刊行物読者アンケートはがきの作成
 - 〃 調査等協力者に対するお礼の品の作成
 - 〃 市民講座の開催
 - 〃 いちよう塾への講座提供

平成24年度 市史編さん事業の組織体制（平成24年7月現在）



市史編さん室職員

| | | |
|----------|---------------|-----------|
| 室長 | 木内 基容子 | |
| 主幹 | 齋藤 和仁 | 4月1日付転入 |
| 専門管理官 | 佐藤 広 | |
| 主査 | 長谷部 晃一 | |
| | 秋山 和英 | 4月1日付増員転入 |
| 主任 | 尾崎 佐智子 | 4月13日付転入 |
| | 学芸員 渡部 恵一 | |
| 編集担当 | 松田 明彦 | |
| | 塚原 裕子 | 4月1日付採用 |
| 市史編さん専門員 | 原始・古代担当 馬場 有美 | |
| | 中世担当 柳澤 誠 | |
| | 近世担当 大木 悠佑 | |
| | 近現代担当 宮崎 翔一 | |
| | 自然担当 佐藤 千枝 | |
| | 民俗担当 春日 祐美 | |

【参考】

3月31日付定年退職
福田 美和子主任
（4月1日付で宮上中学校へ）

4月1日付転出
新井 雅人主幹
（教育委員会へ出向
生涯学習スポーツ部学習支援課長に）

平成23年度編集・刊行過程での主な課題及びその検証

| 書名 | 課題 | 改善策 |
|-------------------------|---|--|
| 『新八王子市史』資料編5 近現代1 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 表・図などを原典どおりとするか、筆耕者の判断で省略もありえるのか、の判断が不統一であった 2. 史料掲載の体裁(書式・配置)が不統一であった 3. 筆耕者ごとの表記(漢字・ひらがな表記、送り仮名等)が不統一で、チェック体制も不備であった 4. Word原稿からIn Design原稿に移行するタイミングが悪く、In Design原稿に移行した後も校正が多かった 5. 本文編集作業が一段落してから、口絵・表紙カバーの編集を始めたため、余分に時間がかかった 6. 凡例作成を史料の校正と同時進行で進めたため、表記の統一が二転三転した 7. 掲載許可に予想以上に時間がかかった(特に写真) | <ol style="list-style-type: none"> 1. 筆耕要項にきちんと定める 2. 事前に体裁の統一が必要 3. 統一的な表記基準の作成が必要 4. Word原稿のうちに、十分な校正をする(その時間をとる) 5. 口絵・表紙カバーの編集は本文と同時に進行させる(スケジュールを組む) 6. 凡例は事前(校正以前)に作成する 7. 掲載許可に要する時間を見越したスケジュールを組む |
| 『新八王子市史』資料編1 原始・古代(編集中) | <ol style="list-style-type: none"> 1. 出来上がリイメージを固めきれていない段階での契約締結であったため、入稿をIn Designデータで行うこととしたが、入力作業に時日を要した 2. 原稿執筆者が多数(16名)に及び、原稿内容の統一や調整に時間を要した 3. 遺物の撮影や写真借用の手配が大幅に遅れた 4. 事務局の経験不足から作業中に手戻りが生じた | <p>4月1日より職員(編集担当)を1名増員するとともに、24年6～7月に、編集作業補助のための臨時職員を1名配置した。</p> |
| 『村明細帳集成』 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 筆耕データの体裁が凡例と不一致 2. 校正基準が不明確 3. 出典表記の不統一 4. 入稿前原稿校正の段階で相当数の訂正があった 5. In Designで原稿作成したために、修正作業をできる人間が限られた 6. 掲載史料の確定が遅れた 7. 掲載許可に予定していた以上の時間を要した 8. 校正の分担が不明確 9. 付図の誤り | <ol style="list-style-type: none"> 1. 筆耕要項の見直し 2. 校正基準の作成 3. 出典表記の方法はあらかじめ定める 4. 入稿前原稿の段階で、できるだけ出来上がりに近づける 5. 入稿まではWordで原稿作成する(複数名で作業できる方法で) 6. 掲載史料の確定時期(締切)を決める 7. 掲載史料確定後、速やかに掲載許可取得に動く 8. 校正の分担を定める 9. 図版作成時の徹底的な校正 |
| 『恩方の民俗』 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 執筆基準(統一事項)の決定が遅れた 2. 話者確認に時間を要した | <ol style="list-style-type: none"> 1. 執筆前に基準(統一事項)を確定 2. 入稿前に話者確認を終わらせる(可能なスケジュールを組む) |
| 『八王子市史研究』第2号 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 初校段階で下記のような問題が生じた <ol style="list-style-type: none"> (1)同一原稿内での表記の不統一 (2)明らかな語句の欠落 (3)本文内容と図表の不整合 (4)本文中の誤字・脱字、図表の数字や罫線の欠け (5)和暦と西暦の不一致 (6)最新でない自治体名の記載 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 入稿前の事務局による原稿整理が不十分であったこと、事務局校正の分担が曖昧であったことに起因することから、下記のような改善策を講じる <ol style="list-style-type: none"> (1)原稿整理・校正作業のスケジュール・作業手順・担当者の責任を明確にし、共有する (2)校正のルールを定め、分担する |

平成23年度刊行物編集作業についての事務局としての総括(各部会共通事項)

1. 入稿原稿整理の徹底

資料筆耕要項、校訂・割付要項、原稿執筆要項などを早い段階で確定し、原稿作成段階から体裁・表記の統一を図る。

また、それに基づく事務局校正を、複数の目でしっかり行う。

凡例・巻末資料、口絵・表紙等の編集作業を早期に進める。

複数の作業者が分担・同時並行で作業できる方法で入稿原稿を作成する(原則、Wordで作成)。

掲載許可や話者確認を要するものは、入稿前に了解をとれるようなスケジュールを組む。

2. 十分な初校期間を確保する。

3. 作業の重複や手戻りによる時間のロスを発生させないよう、校正作業の手順と役割分担を明確にしておく。

市史刊行物の販売状況（平成24年6月末日現在）

| 販売場所 書名 | 印刷部数 | 市 政 資 料 室 | 南口総合 事 務 所 | 郷 土 資 料 館 | 編さん室 | 編さん室 (郵 送 分) | 恩 方 事 務 所 | いちよう 塾 | 市 長 と 語 る | 有 償 計 | 無 償 配 付 | 総 計 | 残 部 数 |
|----------------------------|-------|--------------|---------------|--------------|------|-------------------|--------------|-----------|--------------|-------|---------|-------|-------|
| 市史研究 創刊号 (H23.4.27) | 2,000 | 95 | 110 | 99 | 140 | 126 | — | 7 | — | 577 | 1,064 | 1,641 | 359 |
| 市史研究 第2号 (H24.4.20) | 2,000 | 29 | 37 | 47 | 14 | 2 | — | 9 | — | 138 | 898 | 1,036 | 964 |
| 村明細帳 集 成 (H24.3.12) | 1,200 | 41 | — | 39 | 13 | 0 | — | 1 | — | 94 | 501 | 595 | 605 |
| 恩方の民俗 (H24.6.1) | 2,000 | 46 | 54 | 74 | 13 | 5 | 26 | 31 | 9 | 258 | 502 | 760 | 1,240 |
| 資料編5 近現代1 (H24.6.15) | 1,500 | 19 | 18 | 26 | 14 | 1 | — | — | 4 | 82 | 874 | 956 | 544 |

書名欄の（ ）内は販売開始日

恩方事務所では「恩方の民俗」のみを販売

「いちよう塾」と「市長と語る」は出張販売

市史関連有償刊行物の無償配付先一覧

| 配付順 | 区分 | 配付先 | 配付先備考 |
|-----------|-----------|-------------------------|-------------------------------------|
| 1 | 直接関係者 | 0 室長・主幹・専門管理官・担当職員・専門員 | |
| | | 1 執筆者(本人用) | |
| | | 2 執筆者(謹呈用) | |
| | | 3 調査機関・協力者 | |
| 2 | 市史編さん関係者 | 4 編さん室職員(上記0を除く) | |
| | | 5 審議会委員・編集委員会委員 | |
| | | 6 専門部会委員(執筆者を除く) | 部会長は上記5で配付 |
| | | 7 専門部会専門調査員・調査員(執筆者を除く) | 刊行物と関係する部会に配付 |
| | | 8 顧問・研究協力員・市民協力員 | |
| | | 9 臨時職員 | 古文書整理業務等に活用できる場合に配付 |
| | | 10 異動者・退職者等 | 編集に関わった職員に配付 |
| | | 11 文化財課(郷土資料館)職員 | |
| | | 12 史料所在調査従事ボランティア | 近世に関係するものを配付 |
| | | 13 調査協力者、関係者等 | 市史研究は、これまでの協力者・関係者に広く配付 |
| 3 | 庁内 | 14 理事者・教育長・教育委員・代表監査委員 | |
| | | 15 市議会議員 | |
| | | 16 文化財保護審議会委員(市史関係者を除く) | |
| | | 17 生涯学習審議会委員 | 市史研究を配付 |
| | | 18 博物館協議会委員 | 市史研究を配付 |
| | | 19 部長職 | 本編(資料編・記述編)は部用として、その他は適宜判断 |
| | | 20 各課 | 市史研究のみ配付 |
| | | 21 市立小・中学校、教育センター | 各校1、高尾山学園は小・中で1、教育センター用2 |
| | | 22 庁内所管・教員等 | 庁内所管や教員から、事業や教材等の利用目的をもって配付申請があったとき |
| | | 4 | 閲覧用 |
| 24 議会図書室 | 閲覧必要部数を配付 | | |
| 25 市政資料室 | 閲覧必要部数を配付 | | |
| 26 地区図書室 | 閲覧必要部数を配付 | | |
| 27 郷土資料館 | 閲覧必要部数を配付 | | |
| 28 その他市施設 | 配付先は下記参照 | | |
| 5 | プレス | 29 記者クラブ・市政記者会 | パブリシティ時に配付。部数は広報担当と調整 |
| 6 | 外部関係機関 | 30 国立国会図書館 | 各3冊納本 |
| | | 31 全史料協会 | |
| | | 32 都内・近郊歴史系博物館・資料館 | 関係する分野のものを配付 |
| | | 33 都内・近郊自然系博物館・資料館 | 関係する分野のものを配付 |
| | | 34 都内・近郊美術系博物館・資料館 | 関係する分野のものを配付 |
| | | 35 各自治体史担当所管等 | |
| | | 36 都内公立図書館 | 都立中央1、区市町村立中央館各1 |
| | | 37 市内大学・高校 | |
| | | 38 近郊大学日本史研究室 | |
| | | 39 姉妹都市等 | 苫小牧市、日光市、白糠町 |
| 7 | 市政関係者 | 41 自治功労者 | 本編(資料編・記述編)を配付 |
| | | 42 観光大使 | 北島三郎、西川古柳、羽生善治、ファン・モン |
| | | 43 観光協会 | |
| | | 44 学園都市文化ふれあい財団(経営管理課) | 2冊(理事長用・財団用) |
| | | 45 住宅・都市整備公社 | |
| | | 46 八王子市職員組合 | |
| 8 | その他民間機関 | 47 たましん文化財団 | |
| | | 48 八王子商工会議所 | |
| | | 49 八王子織物工業組合 | |
| | | 50 高尾山薬王院 | 2冊(貫主用・御山用) |
| | | 51 京王電鉄 | |

その他市施設) 長池公園自然館、夕焼け小焼けふれあいの里、市民活動推進センター、学園都市センター、姫木平少年自然の家、絹の道資料館、八王子城跡ガイダンス施設、道の駅滝山、戸吹スポーツ公園、あったかホール、こども科学館

市史編集専門部会調査活動報告

(平成24年3月～6月分)

| | | |
|---|---|--|
| 部 会 名 | 平成 24 年度 第 1 回 原始・古代 部会会議 | 開催（実施）日時 平成 24 年 5 月 10 日（木） 午前・ 午後 6 時 30 分～ 午前・ 午後 8 時 50 分まで |
| 報告者（部会長氏名） < 敬称略 > | 関 和彦 | 専門員氏名 馬場 有美 |
| 出席者（参加者）氏名 < 敬称略 > | 部会長 関 和彦 部会委員 及川良彦 鈴木美保 深澤靖幸 専門調査員 服部敬史 紺野英二 【事務局】木内基容子 齋藤和仁 長谷部晃一 秋山和英 馬場有美 | |
| 概要 1．資料編編集状況について （1）表現統一について キャプション記入方法 写真の所蔵表記 参考文献の記入方法 図面の統一 遺跡位置図の修正方法確認 遺跡の所在地 関連遺跡が別頁に掲載されている場合の表記 （2）過去の部会会議の懸案事項について 巻頭『時代区分と流域設定』に使用する地図について 遺跡掲載番号 巻末『八王子市遺跡一覧』 資料編掲載遺跡をどのように反映させるか。 遺跡よみかた一覧（50音順） 遺跡の読み 遺跡番号 八王子市遺跡一覧 資料編掲載遺跡の検索 コラムの内容 （3）原稿事務局修正基準案【資料4】 事務局読みの修正基準 本文中の団体名の扱い 固有名詞、考古学用語の統一 （4）協力者一覧確認のお願い | | |

2．本編について

(1)『多摩川流域市町村史誌 章立て一覧』と関部会長の報告

平成25年度のうちに投稿原稿ができるようスケジュールを組む。本編の章立てについて意見交換会を1ヶ月以内に行う。

3．その他

資料編原稿料について報告

次回部会会議の開催日程を6月20～25日で調整する。

【配布資料】

資料1 原始・古代資料編編集作業進捗状況確認表

資料2 巻頭巻末進捗状況確認表

資料3 原始・古代資料編編集について

資料4 『新八王子市史』資料編 原始・古代 原稿事務局修正基準案 その2(24.5.10現在)

資料5 協力者一覧確認のお願い

資料A 八王子市史原始古代本編章立てに向けての基礎情報『多摩川流域市町村史誌 章立て一覧』(関部会長より)

資料B 若干の感想(関部会長より)

| | | |
|---|--|--|
| 部 会 名 | 平成 24 年度 第 2 回 原始・古代 部会会議 | 開催（実施）日時 平成 24 年 6 月 21 日（木） 午前・ 午後 6 時 30 分～ 午前・ 午後 9 時 10 分まで |
| 報告者（部会長氏名） < 敬称略 > | 関 和彦 | 専門員氏名 馬場 有美 |
| 出席者（参加者）氏名 < 敬称略 > | 部会長 関 和彦 部会委員 池上悟 及川良彦 黒尾和久 鈴木美保 深澤靖幸 専門調査員 服部敬史 紺野英二 横田深雪 【事務局】木内基容子 齋藤和仁 長谷部晃一 馬場有美 | |
| <p>概要</p> <p>1．資料編編集状況について</p> <p>（1）編集作業について</p> <p>遺跡紹介頁最終確認について報告</p> <p>統一作業・事務局修正基準による校正・スライド裏焼き、写真反転の確認。</p> <p>ページ割について 遺跡紹介頁の掲載順の現状と事務局修正案</p> <p>遺跡紹介頁掲載写真への写真提供者・資料所蔵者の表記について</p> <p>参考文献一覧の内容と遺跡一覧の掲載内容について</p> <p>新地平編年について</p> <p>（2）凡例について</p> <p>2．本編について</p> <p>（1）縄文時代目次案（黒尾委員より）</p> <p>（2）古墳時代目次案（池上委員より）</p> <p>3．その他</p> <p>市史研究第 3 号の原始・古代部会担当分執筆内容の検討</p> <p>今年度の連続市民講座を原始・古代部会で行う。</p> <p>次回部会会議の開催日程を 7 月 2 1 日以降で日程調整する。</p> <p>【配布資料】</p> <p>資料 1 原始・古代資料編ページ割</p> <p>資料 2 原始・古代資料編ページ割（案）</p> <p>資料 3 原始・古代資料編編集作業について</p> <p>資料 4 凡例（事務局第 1 案）</p> <p>資料 B - 1 『新八王子市史』通史編 1 原始・古代 頁割付表（案）</p> <p>資料 B - 2 『新八王子市史』通史編 原始・古代のキャッチフレーズについて</p> <p>資料 B - 3 縄文時代目次（黒尾委員より）</p> | | |

| | | |
|--|---|--|
| 部 会 名 | 平成 23 年度中世部会 第 6 回資料調査 | 開催（実施）日時 平成 24 年 3 月 18 日（日） 午前・午後 10 時 から 午前・午後 2 時 まで |
| 報告者（部会長氏名） < 敬称略 > | 池上裕子 | 専門員氏名 柳沢 誠 |
| 出席者（参加者）氏名 < 敬称略 > | 部会長 池上裕子 部会委員 小林一岳 加藤 哲 櫻井 彦 徳永裕之 【事務局】柳沢 誠 | |
| <p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>北条氏照関係文書を含む日野市金剛寺（高幡不動）が所蔵する中世文書の閲覧調査を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．文書の採寸、筆跡・料紙および文字の原本確認 2．デジタルカメラによる撮影 | | |

| | | |
|---|---|---|
| 部 会 名 | 平成 24 年度中世部会 第 1 回部会会議 | 開催（実施）日時 平成 24 年 4 月 21 日（土） 午前・ 午後 3時から 午前・ 午後 6時まで |
| 報告者（部会長氏名） < 敬称略 > | 池上裕子 | 専門員氏名 柳沢 誠 |
| 出席者（参加者）氏名 < 敬称略 > | 部会長 池上裕子 部会委員 小林一岳 加藤 哲 櫻井 彦 徳永裕之 【事務局】木内基容子 齋藤和仁 秋山和英 柳沢 誠 | |
| <p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>1．報告事項</p> <p>資料収集・調査の進行状況について</p> <p>ア．資料調査</p> <p>イ．実踏・視察調査</p> <p>ウ．中世考古関係</p> <p>エ．その他</p> <p>2．検討事項</p> <p>（1）資料編中世の編集について</p> <p>（2）次回以降の部会活動の予定について</p> <p>ア．調査・会議</p> <p>イ．編集作業</p> <p>（3）今後の資料収集・調査（夏季調査を含む）の方針と対象について</p> <p>ア．資料調査</p> <p>イ．実踏調査等</p> <p>【配布資料一覧】</p> <p>資料1 資料収集・調査の進行状況について</p> <p>資料2 平成 24 年度の部会活動の予定について</p> <p>資料3 資料編 2 中世の編集について</p> <p>別紙 1 文献史料編選定史料リスト</p> <p>別紙 2 史料紹介の例</p> <p>別紙 3 他自治体史料編の凡例の例</p> <p>別紙 4 新八王子市史資料編 2 中世編集スケジュール案</p> | | |

| | | |
|--|---|---|
| 部 会 名 | 平成 24 年度中世部会 第 1 回資料調査 | 開催（実施）日時 平成 24 年 5 月 21 日（月） 午前・ 午後 3時から 午前・ 午後 4時 30分まで |
| 報告者（部会長氏名） < 敬称略 > | 池上裕子 | 専門員氏名 柳沢 誠 |
| 出席者（参加者）氏名 < 敬称略 > | 部会長 池上裕子 部会委員 小林一岳 加藤 哲 櫻井 彦 徳永裕之 【事務局】齋藤和仁 秋山和英 柳沢 誠 | |
| <p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>宮内庁書陵部所蔵九条家文書のうち、武蔵国船木田荘関係文書の閲覧を行なった。</p> | | |

| | | |
|--|--|--|
| 部 会 名 | 平成 24 年度中世部会 第 2 回部会会議 | 開催（実施）日時 平成 24 年 6 月 24 日（日） 午前・ 午後 1 時 30 分から 午前・ 午後 5 時まで |
| 報告者（部会長氏名） < 敬称略 > | 池上裕子 | 専門員氏名 柳沢 誠 |
| 出席者（参加者）氏名 < 敬称略 > | 部会長 池上裕子 部会委員 小林一岳 加藤 哲 櫻井 彦 徳永裕之 【事務局】秋山和英 柳沢 誠 | |
| <p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>1．報告事項 資料収集・調査等の進行状況について</p> <p>（1）資料調査</p> <p>（2）実踏・視察調査</p> <p>（3）中世考古関係</p> <p>（4）その他</p> <p>2．検討事項</p> <p>（1）資料編中世の綱文・解説の検討</p> <p>（2）今後の資料収集・調査および夏季集中調査について</p> <p>（3）その他</p> <p>【配布資料一覧】</p> <p>資料1 川口地区地図</p> <p>資料2 石塔調査成果</p> <p>資料3 綱文・解説案</p> | | |

| | | |
|--|---|--|
| 部 会 名 | 平成 23 年度近世部会 第 7 回部会 | 開催（実施）日時 平成 24 年 2 月 19 日（日） 午前・ 午後 1 時 30 分～ 午前・ 午後 5 時 00 分まで |
| 報告者（部会長氏名） < 敬称略 > | 藤田 覚 | 専門員氏名 大木悠佑 |
| 出席者（参加者）氏名 < 敬称略 > | 部会長 藤田 覚 部会委員 神立孝一 岩橋清美 白石烈 山崎圭 専門調査員 長田直子 鈴木直樹 【事務局】木内室長、渡部主任、大木専門員 | |
| 概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください） | | |
| <p>1.事務局進捗状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『村明細帳集成』刊行について 【報告内容】 ・ 修正箇所、現在の配布先、 【作業】 ・ 部会委員の必要部数 (1) 資料調査状況 【報告内容】 ・ 借用資料 3 件（加住地区 1 件、小宮地区 1 件、市外 1 件） ・ 収集作業中 2 件（市外 2 件） (2) 資料整理・マイクロフィルム化作業 【報告内容】 ・ 近世に関する資料の整理はなし ・ 新たにマイクロフィルム化を依頼 4 件 (4) 筆耕資料状況 【報告内容】 ・ 前回会議後の筆耕点数・枚数 172 点 631 枚 【作業】 ・ 未筆耕資料（2、3 章関連資料）の依頼 (5) 郷土資料館マイクロフィルムの紙焼き 【報告内容】 ・ 納品時期の確定 閲覧可能時期 ・ 目録データ化作業...9 件分済。4 件作業中 【作業】 ・ 納品後、ファイルに綴じて配架する <p>2.資料編作業について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 資料編スケジュールについて 【確認事項】 ・ 6 月末までに第一次原稿作成 10 月に業者入稿 ・ 第一次原稿を 7～9 月で校訂作業 ・ 業者入稿後に再度校訂作業を行う (2) 資料編体裁関係 【確認事項】 ・ 文字の大きさは原則 13Q、11Q、8Q の 3 種類を使用。 ・ 本文は 13Q、11Q の 2 種類。注など資料部分以外は 8Q を使用する | | |

文字の大きさがわかるものを次回会議にて資料として配布

(西暦)

- ・資料表題は「(元号) 年 - 月 資料名」
- ・西暦の表記は、旧正月によるずれを反映しない。凡例に記す
- ・改元のある年の元号表記については資料表記に従う。
- ・ミセ消しの表記 (抹消) で統一
- ・漢字の表記 常用漢字を使用
人名、寺院名などの固有名詞も同じく。凡例に記す

【作業】 ・次回部会会議にスケジュール、凡例、体裁を資料として配布する。

3.資料編作業

- 【報告】
- ・資料編 1 章 (藤田部会長より)
 - ・資料編 2 章 (山崎圭委員より)
 - ・資料編 3 章 (岩橋清美委員、長田直子専門調査員、鈴木直樹専門調査員より)

4.その他連絡事項など

【決定事項】 ・次回部会会議は 3 月 24 日 (土) 13 時 30 分より

【配布資料一覧】

- ・資料 1 事務局進捗状況報告
- ・資料 2 表：市史編さん室借用資料整理状況・マイクロフィルム化作業
- ・資料 3 表：前回部会会議以後筆耕資料一覧
- ・資料 4 表：未筆耕資料一覧
- ・資料 5 表：郷土資料館マイクロフィルムから紙焼き打出し依頼リスト一覧
- ・資料 6-1 表：資料編作業スケジュール
- ・資料 6-2 表：資料編作業内容
- ・資料 7 表：資料編体裁について
- ・作業状況報告
 - 資料編 1 章
 - 資料編 3 章 (鈴木直樹)
 - 資料編 4 章 (山本英貴)
- その他 部会委員作業進捗状況レジュメ

| | | |
|--|---|--|
| 部 会 名 | 平成 23 年度近世部会 第 8 回部会 | 開催（実施）日時 平成 24 年 3 月 24 日（日） 午前・ 午後 1 時 30 分～ 午前・ 午後 5 時 00 分まで |
| 報告者（部会長氏名） < 敬称略 > | 藤田 覚 | 専門員氏名 大木悠佑 |
| 出席者（参加者）氏名 < 敬称略 > | 部会長 藤田 覚 部会委員 神立孝一 山崎 圭 専門調査員 長田直子 鈴木直樹 【事務局】木内室長、新井主幹、長谷部主査、大木専門員 | |
| 概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください） | | |
| <p>1.事務局作業進捗状況</p> <p>(ア) 『村明細帳集成』販売状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市政資料室などで 55 冊販売（3 月 22 日時点） ● 公的機関、大学などに送付 ● 市政資料室、市立図書館、郷土資料館などで閲覧可能。 <p>(イ) 資料調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 前回部会会議後に借用した資料 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 八王子市外 1 軒（近世、八王子宿にて商売をしていた関係で八王子に関する資料をもつ。） ● 神奈川県立公文書館所蔵の八王子関連資料 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 上巻分方村内田家文書ほか ● 早稲田大学図書館所蔵の八王子関連資料 <ul style="list-style-type: none"> ➢ “正田研究室旧蔵文書” <p>(ウ) 編さん室内資料整理状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 借用資料のマイクロフィルム撮影状況 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 資料の編さん室への返却 9 軒 ➢ 紙焼きの納品 2 軒 ● 【今後の予定】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 返却資料の確認 ➢ 紙焼きのファイリング。編さん室内にて閲覧可能に。 <p>(エ) 筆耕作業進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 前回部会会議後の筆耕枚数 214 枚（36 点） <ul style="list-style-type: none"> ➢ 資料編 に使用する 1～4 章に関連する資料の筆耕を行なう ● 資料編（1～4 章）に関連する資料の内、未筆耕のもの 13 点 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 3 章関連 12 点（内筆耕依頼中 4 点） ➢ 4 章関連 1 点（内筆耕依頼中 1 点） | | |

2.資料編作業について

(ア) 資料編作業スケジュールについて

- 『村明細帳集成』編集作業の検証
 - 筆耕データと凡例との体裁があっていなかったため、資料の校訂作業に時間がかかった。
 - 文字の組み方や大きさなどの校訂の基準が明確ではなかった。
 - 編集ソフトInDesignを利用したことにより、作業者と機材に制限がかかった。
 - 掲載資料の確定時期が明確でなく、刊行が近づいた時期でも資料の移動があった。
 - 掲載許可に想定以上の時間がかかった。
 - 出典の表記が統一されていなかった。
 - 部会と事務局の校正作業の役割分担が不明確であった。
 - 印刷後に誤りが発見された。
- 資料編作業スケジュールの確認
 - 資料部分は 7 月末までにデータと打ち出した原稿に割付指示をしたものを事務局に提出
 - ◇ 資料部分は初校戻しまで変更可能とし、以後は変更不可とする。
 - 事務局内で原稿整理した後、8 月初頭に業者に入校
 - 9 月～10 月半ば、資料部分の原資料との突き合わせ作業（一つの章につき 2 人の目が入るように作業する）
 - 10 月半ば～11 月半ば、初校戻し、再校ゲラ出稿
 - 11 月半ば～12 月半ば、資料部分の原資料突き合わせ（再校）
 - 12 月半ば～1 月初頭、再校戻し、念校ゲラ出稿
 - 1 月初頭～1 月末、最終確認、校了指示
 - 解説部分は、7～9 月に解説部分の執筆及び部会会議での検討
 - 10 月初頭～事務局での表記ゆれの統一作業など
 - 11 月、執筆者へ初校出稿
 - その他、表紙カバー、口絵は資料がある程度確定する 8 月前後に部会会議で検討する。

(イ) 原稿作成要領について

- 資料の掲載様式：要素と順番は以下の通り

タイトル 表紙 本文 裏表紙 出典

- タイトルの表記は、資料番号（アラビア数字、通し番号）、資料年代（和暦年月、和暦のルビで西暦を漢数字で表記し丸括弧でくる）、年月日は漢数字で表記する。「10」の表記は「十」とする。
- 表紙は「」で矩形をつくる
- 出典の表記は、以下の様に表記する。
 - ◇ 個人所蔵：（ 町 【名字】家文書）

◇ 寄託： (町 【名字】家文書・××寄託)

◇ 機関所蔵： (町 【名字】家文書・××所蔵)

外部機関所蔵の場合、機関の意向がある場合はその書式に従う。

市外については、【自治体名】 【名字】家文書

都外については、【都道府県】 【自治体名】 【名字】家文書

➤ 各要素間の内、 ~ の間は一行空き、 と の間は一行空けない。また資料と資料の間も一行空ける

● 本文の体裁

➤ 本文に使用する用字は原則「常用漢字表」にある常用漢字を用いる。但し、該当する常用漢字が無い場合、特定の固有名詞などの漢字の字形が意味を持つ場合などは原典表記に従う。

➤ 仮名の使用する用字について、変体仮名は原則としてかな表記とする。但し、助詞で使用する「江」、「者」、「而」はそのまま用いる。

(ウ) 資料編編集作業体制について

● 掲載資料の校訂作業用原資料準備や校正指示の直しの確認、口絵部分などの編集に関わる作業を担当する作業チームを編成し、以下のメンバーにて構成する。

➤ 渡部恵一主任、大木悠佑専門員、北村厚介専門調査員、鈴木直樹専門調査員、北村純也調査員

(エ) その他資料編に関わる作業について

● 資料編章節の構成レベル

➤ 3段階(章 - 節 - 項 + 資料番号)

● 解説執筆は章レベルで行ない、その位置は章ごとに配置する。

➤ 1章扉 - 1章解説 - 1章資料部分 - 2章扉...

● 解説の枚数は原稿用紙に換算して30~40枚/章

● 口絵については、章担当者と編集作業チームを中心に掲載候補をピックアップする。

3.部会委員等作業報告

(ア) 資料編1章作業報告(部会長:藤田覚)

(イ) 資料編2章作業報告(部会委員:山崎圭)

(ウ) 資料編3章作業報告(専門調査員:長田直子、鈴木直樹)

4.その他連絡事項

(ア) 次回部会会議日程について

【決定事項】・次回部会会議は平成24年4月15日(日)13:30~

【配布資料一覧】

・資料1 八王子市史叢書1『村明細帳集成』の販売状況等について

- ・資料 2 事務局作業進捗状況報告
- ・資料 3 表：前回部会会議以後筆耕資料一覧
- ・資料 4 表：未筆耕資料一覧
- ・資料 5 表：郷土資料館マイクロフィルムから紙焼き打出し依頼リスト一覧
- ・資料 6 表：資料編作業スケジュール
- ・資料 7-1 体裁について
- ・資料 7-2 資料編 3 近世 1 校訂基準一覧表
- ・資料 8-1 資料編体裁作業見本（ワード版）
- ・資料 8-2 資料編体裁作業見本（インデザイン版）
- ・作業状況報告
 - 資料編 1 章
 - 資料編 3 章（鈴木直樹）

| | | |
|--|--|--|
| 部 会 名 | 平成 24 年度近世部会 第 1 回部会 | 開催（実施）日時 平成 24 年 4 月 15 日（日） 午前・ 午後 1 時 30 分～ 午前・ 午後 5 時 00 分まで |
| 報告者（部会長氏名） < 敬称略 > | 藤田 覚 | 専門員氏名 大木悠佑 |
| 出席者（参加者）氏名 < 敬称略 > | 部会長 藤田 覚 部会委員 神立孝一 山崎圭 白石烈 専門調査員 長田直子 鈴木直樹 【事務局】木内室長、斉藤主幹、秋山主査、渡辺主任、大木専門員 | |
| 概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください） | | |
| <p>1.事務局報告</p> <p>（ア）編さん室利用可能目録について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在（20120415）、57 の資料群（近世に係るもの）が編さん室内において、原資料、マイクロフィルム、紙焼きのいずれかにおいて利用可能。 <p>（イ）資料編掲載候補資料の筆耕状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 前回部会会議後の筆耕枚数 69 枚（13 点） ● 資料編（1 章～4 章）に関連する資料の内、未筆耕のもの 9 点 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 2 章関連資料 1 点（内筆耕依頼中 1 点） ➢ 3 章関連資料 6 点（内筆耕依頼中 3 点） ➢ 4 章関連資料 2 点（内筆耕依頼中 2 点） <p>（ウ）資料編体裁・校訂基準について（前回部会会議での指摘事項の確認）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 史料表記（タイトル）と出典の確認 <ul style="list-style-type: none"> ➢ <p>2.部会委員等作業報告</p> <p>（ア）資料編第 2 章作業報告（部会委員：山崎圭）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <p>3.その他連絡事項</p> <p>【決定事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 次回部会会議日程：平成 24 年 5 月 19 日（土） 16：30～ <p>【配布資料一覧】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 1 市史編さん室で利用可能な資料群一覧 ・資料 2 20120324 以降筆耕資料一覧 ・資料 3 未筆耕資料一覧 ・資料 4-1 近世資料編史料原稿の体裁について（20120415 ver.） ・資料 4-2 Word 原稿作成イメージ | | |

- ・資料 4-3 完成イメージ
- ・資料 5 近世資料編校訂基準一覧表 (20120415 ver.)
- ・作業状況報告
 - 資料編 2 章 (山崎圭)
 - 資料編 3 章 (長田直子)
 - 資料編 3 章 (鈴木直樹)

| | | |
|--|--|--|
| 部 会 名 | 平成 24 年度近世部会 第 2 回部会 | 開催（実施）日時 平成 24 年 5 月 19 日（日） 午前・ 午後 4 時 00 分～ 午前・ 午後 8 時 00 分まで |
| 報告者（部会長氏名） < 敬称略 > | 藤田 覚 | 専門員氏名 大木悠佑 |
| 出席者（参加者）氏名 < 敬称略 > | 部会長 藤田 覚 部会委員 岩橋清美 神立孝一 山崎圭 白石烈 専門調査員 長田直子 鈴木直樹 【事務局】木内室長、斉藤主幹、渡辺主任、大木専門員 | |
| 概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください） | | |
| <p>1.事務局報告</p> <p>（ア） 資料編掲載候補資料の筆耕状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 前回部会会議後の筆耕枚数 33 枚（10 点） ● 資料編（1 章～4 章）に関連する資料の内、未筆耕のもの 9 点 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 3 章関連資料 10 点（内筆耕依頼中 8 点） ➢ 4 章関連資料 2 点（内筆耕依頼中 2 点） <p>2 資料編作業について</p> <p>（ア）所蔵者表記について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 編さん室利用可能資料群の所蔵者表記の例 <p>（イ）校訂記号について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 資料編割付、校訂記号について統一（日本エディタースクール編“標準校正必携 第 8 版”に準拠する） <p>（ウ）割書について（文字サイズ、表記方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 割書の文字サイズは、11Q にする。 ● 割書の折り返しは原資料通りの表記にならないことの確認 <p>（エ）近世資料編 1、2 の構成変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 変更前 1～4 章が資料編 1、5～8 章が資料編 2 ● 変更後 1～3 章が資料編 1、4～8 章が資料編 2 <p>章構成（章題は仮）</p> <p>1 章 近世八王子宿と町</p> <p>2 章 八王子を支配した領主</p> <p>3 章 八王子の村々</p> <p>4 章 八王子千人同心</p> <p>5 章 八王子の諸産業（養蚕・生糸・織物以外）</p> <p>6 章 養蚕・生糸・織物</p> <p>7 章 信仰と文化</p> | | |

8章 幕末維新と八王子

3.部会委員等作業報告

- 資料編3章作業報告

4.その他連絡事項

(ア) 次回部会会議日程 平成24年6月24日(日)13:30~

【配布資料一覧】

- ・ 資料1-1 筆耕済資料一覧
- ・ 資料1-2 未筆耕資料一覧
- ・ 資料2 所蔵者表記一覧(例)
- ・ 資料3-1 校訂記号
- ・ 資料3-2 割付・校訂作業例
- ・ 資料3-3 完成イメージ(本文13Q+割書11Q)
- ・ 資料3-4 完成イメージ(本文13Q+割書9.75Q)
- ・ 資料編3章作業状況報告

| | | |
|--|--|--|
| 部 会 名 | 平成 24 年度近世部会 第 3 回部会 | 開催（実施）日時 平成 24 年 6 月 24 日（日） 午前・ 午後 1 時 30 分～ 午前・ 午後 5 時 00 分まで |
| 報告者（部会長氏名） < 敬称略 > | 藤田 覚 | 専門員氏名 大木悠佑 |
| 出席者（参加者）氏名 < 敬称略 > | 部会長 藤田 覚 部会委員 岩橋清美 神立孝一 山崎圭 専門調査員 長田直子 鈴木直樹 【事務局】木内室長、長谷部主査、大木専門員 | |
| 概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください） | | |
| 1.事務局報告 （ア）資料編掲載候補資料の筆耕状況について <ul style="list-style-type: none"> ● 前回部会会議後の筆耕枚数 187 枚（22 点） <ul style="list-style-type: none"> 資料編 3 章に関するもの 4 点 資料編 2 章に関するもの 18 点 ● 検地帳集成掲載資料候補のリストアップ作業（口頭報告） ● 現八王子市内近世名主特定作業（口頭報告） ● 紙焼きのファイル作業（口頭報告） | | |
| 2.資料編作業について （ア）ページ割 <ul style="list-style-type: none"> ● 表紙・序・後付などで約 70 ページ ● 細目次は文字を小さくしてページ数が増えないようにする ● 総論は 4 ページ程度 ● 資料部分について（25 字×18 行×2 段/ページ） <ul style="list-style-type: none"> ➢ 1 章 400 ページ ➢ 2 章 250 ページ ➢ 3 章 250 ページ ● 解説部分について（50 字×19 行×1 段/ページ） <ul style="list-style-type: none"> ➢ 1,2,3 章ともに 10 ページ （イ）スケジュール確認【事務局データ渡し～初校まで】 <ul style="list-style-type: none"> ● 事務局への提出日（提出日などについては、（エ）参照） <ul style="list-style-type: none"> ➢ 7 月 30 日 ● 事務局での原稿整理期間 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 提出日以降 8 月 10 日前後 ● 事務局より業者への入稿（予定） <ul style="list-style-type: none"> ➢ 8 月 10 日（契約事務・業者調整が必要） ● 業者よりの初校出稿時期（想定） | | |

➤ 9月3日

(ウ) 初校校訂作業担当者

- 第1章(前半) 藤田部会長 白石部会委員
 - 第1章(後半) 神立部会委員 藤田部会長
 - 第2章 山崎部会委員 岩橋部会委員/長田直子・鈴木直樹専門調査員
 - 第3章 岩橋部会委員/長田直子・鈴木直樹専門調査員 山崎部会委員
- ◇ 二校については、作業担当者 初校作業者以外

(エ) 初校原稿作成手順及び事務局へのデータ渡しについて

- 作業担当者から事務局への提出物の確認
 - データと割付指示記入の内出し原稿
- 事務局での原稿整理作業
 - 見出し(節・項)の割付指示
 - 出典表記の確認/所蔵者への掲載許可確認
 - 資料番号の付与
 - ◇ 資料番号は各章単位で番号をふり、初校時点で“1”から振り直す
 - 出稿前確認

3. 部会委員等作業報告

- 資料編2章作業報告(部会委員山崎圭)
- 資料編3章作業報告(部会委員岩橋清美・専門調査員長田直子・専門調査員鈴木直樹)

4. その他連絡事項

(ア) 次回部会会議日程 平成24年9月30日(日)13:30~

(イ) 市史研究執筆担当者

【配布資料一覧】

- ・ 資料1 20120519以後筆耕資料一覧
- ・ 資料2 近世資料編1 ページ割(案)
- ・ 資料3 スケジュール【事務局データ渡し~初校(9月末)まで】
- ・ 資料4 初校校訂作業担当者/出稿原稿作成までの作成手順
- ・ 資料編2章・3章作業報告

| | | |
|---|---|--|
| 部 会 名 | 近現代部会 平成 23 年度第 7 回部会会議 | 開催（実施）日時 平成 24 年 3 月 31 日（日） 午後 2 時 30 分～ 午後 5 時 00 分まで |
| 報告者（部会長氏名） < 敬称略 > | 新井 勝紘 | 専門員氏名 宮崎 翔一 |
| 出席者（参加者）氏名 < 敬称略 > | 部会長 新井勝紘 部会委員 齋藤勉 梅田定宏 前田成東 源川真希 【事務局】 木内基容子 新井雅人 渡部恵一 宮崎翔一 | |
| <p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>平成 23 年度八王子市史編集専門部会近現代部会 検討課題</p> <p>（1）報告事項</p> <p>1．資料編 1 について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 刊行時期についての説明（事務局：新井雅人） ・ 資料編 1 の問題点について【資料 2 資料編 1 の問題点について】 <p>第 8 回 編集会議</p> <p>日 時：平成 24 年 3 月 16 日（金）18 時～20 時 45 分</p> <p>場 所：クリエイトホール 9F 和室</p> <p>参加者：杉山弘・中村元・増沢航専門調査員</p> <p style="padding-left: 40px;">事務局：新井雅人・渡部恵一・松田明彦・宮崎翔一</p> <p>2．資料編 2 の編集に向けて</p> <p>資料編 2 の編集に向けて（事務局の対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局チェックの一元化 ・ 刊行を見越した編集スケジュールの作成 ・ 平成 24 年度内に章構成の確定 ・ 筆耕要項の見直し（編集チームの指摘を受ける） ・ 章構成を見越した筆耕 ・ ワード原稿において原典の確認（事務局内） ・ ワード原稿上にて体裁の修正（編集チーム・サポート・事務局） ・ 業者入稿のタイミングの見直し <p>3．今後の編集スケジュール（資料編 2 に向けて）</p> <p>【資料 3 八王子市史編集専門部会 近現代部会 「資料編 2」刊行計画】</p> <p>4．平成 24 年度の近現代部会の活動について</p> <p>活動費について</p> <p>【資料 4 H 2 4 近現代部会予算配分案】</p> | | |

筆耕について（資料編 2）

| チーム研究会別 | 筆耕枚数 | 筆耕枚数 | 筆耕枚数（2倍） |
|---------|-----------------------|------|----------|
| 1 | 明治前期チーム | 200 | 400 |
| 2 | 明治中期から昭和初期チーム（都市部） | 300 | 600 |
| 3 | 明治中期から昭和初期チーム（農村部） | 300 | 600 |
| 4 | 戦中戦後復興期チーム（1937～1955） | 400 | 800 |
| 5 | 現代チーム | 480 | 960 |
| | 合計 | 1680 | 3360 |

<内訳>

- ・資料編 2 の掲載枚数は、【資料 5 資料編 2 の目次案】を参考にした。
- ・資料編 2 に必要な筆耕枚数は、1 6 8 0 枚
- ・筆耕要項の修正

（ 2 ） 検討事項

- 1 . 平成 24 年度の近現代部会の活動について
- 2 . 資料編 2 および本編について

資料編 2 について

資料編 2 の編集方針

- ・資料編 1 は、八王子市が所蔵する公的な資料である旧村役場文書を中心に扱った。資料編 2 は、明治初期から現代までの時期を対象に、資料編 1 に入れられなかった家別文書など、八王子を象徴する特徴的な項目の史料を編集するのがよいと考える（必然的に近現代を通した資料集となる）。
- ・本編と連携した史料選択を行う。

資料編 2 の史料選択の基準について（チーム共通）

- 1 . 八王子市内の新史料
- 2 . 新たなテーマ性をもった史料
- 3 . 主要な柱を立てる（政治・社会・文化・産業・戦争・交通・教育など）
- 4 . 基礎的な史料にも目を配る（最小限に留める）
- 5 . 出版された資料は避ける（『旧八王子市史』・『八王子市議会史』・『戦災と空襲の記録』など）

資料編 2 の章構成について

【資料 5 資料編 2 の目次案】

【資料 6 資料編 2（『新八王子市史』資料編 6 近現代 2）章構成 テーマ別構成案】

<資料 5 の構成について>

- ・資料編 1 を参考に構成した。
- ・第 1 章から第 6 章までを 100 頁、第 7 章は 240 頁とした。現代部分について、資料編 1 で

は合併問題しか取り上げていないため、多めに設定した。

<資料6の構成について>

- ・「チーム研究会現状報告」およびチーム研究会内の検討事項をもとに主要な柱（政治・社会・文化・産業・戦争・交通・教育など）を立てて再構成した。
- ・明治中期から昭和初期に関しては、第2章、第3章・第4章の時代区分ごとに再構成する必要がある。その際に、章ごとに柱の項目が立てられるか要検討。
- ・第7章は、現時点での担当分野にもとづく大まかな章構成にしたが、分野別にするか時代別にするか要検討。

史料リストの現状について

【資料7 チーム研究会別 資料編2 史料リスト】

- ・明治前期チーム（新井部会長）
- ・明治中期から昭和初期（都市部）チーム（梅田部会委員）
- ・明治中期から昭和初期（農村部）チーム（源川部会委員）
- ・戦中戦後復興期チーム（齋藤部会委員）
- ・現代チーム（前田部会委員）

史料の選択および筆耕について

<史料選択>

- ・史料選択活動日に、史料リストを作成しながら史料をチェックする。
- ・分野別担当者については、チームごとに史料リストを作成し、判断はチーム研究会に委ねる。
- ・史料選択活動日の当日または翌日には、史料リストと選択した史料を事務局に提出し、事務局より史料のコピーと史料リストを各チーム構成員に郵送する。
- ・送られて史料を各自で精査し、チーム研究会内年間6回（4月・6月・8月・10月・12月・2月）で再度検討を加える。
- ・筆耕された史料は、チーム研究会にて再確認し、章構成を作成していく。

<筆耕依頼>

- ・筆耕依頼は、目安5回（5月・7月・9月・11月・1月）を予定。ただし、チーム内の検討状況に応じる。
- ・チーム内の筆耕枚数には限りがあるので、より厳選した史料選別が必要となる。

<チーム研究会の現状にみる課題>

全時代を通しての課題

- ・都市計画 ・文化運動

時代をまたぐ分野について

- 人口・経済（担当：佐藤正広部会委員） 宗教（担当：畔上専門調査員）
- 交通（担当：山口専門調査員） 織物（担当：鈴木専門調査員）
- 教育（担当：佐藤高樹専門調査員）

(3) その他

チーム研究会報告(チーム部会委員より報告)

- ・各チーム研究会の現状について(1月28日の第6回部会会議の報告を受けて)

配布資料一覧

資料1 平成23年度八王子市史編集専門部会近現代部会 検討課題

資料2 資料編1の問題点について

資料3 八王子市史編集専門部会 近現代部会 「資料編2」刊行計画

資料4 H24 近現代部会予算配分案

資料5 資料編2の目次案

資料6 資料編2(『新八王子市史』資料編6 近現代2) 章構成 テーマ別構成案

資料7 チーム研究会別 資料編2 史料リスト

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 部 会 名 | 近現代部会 平成 24 年度第 1 回部会会議 | 開催（実施）日時 平成 24 年 5 月 12 日（土） 午前・ 午後 2 時 30 分～ 午前・ 午後 5 時 00 分まで |
| 報告者（部会長氏名） < 敬称略 > | 新井 勝紘 | 専門員氏名 宮崎 翔一 |
| 出席者（参加者）氏名 < 敬称略 > | 部会長 新井勝紘 部会委員 齊藤勉 佐藤正広 前田成東 源川真希 【事務局】 木内基容子 齋藤和仁 渡部恵一 宮崎翔一 | |

概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）

（ 1 ）報告事項

1．資料編 1 の刊行について（事務局）

2．資料編 2 の編集に向けて

市史編さん室所蔵資料の状況【資料 2 市史編さん室利用可能資料一覧】
上恩方村・菱山家文書、昭島市（八日町の資料）・中野家文書は、整理中。

チーム研究会の現状について

【資料 3 資料編 2（『新八王子市史』資料編 6 近現代 2）章構成テーマ別構成案】

第 1 回 明治前期チーム研究会（新井勝紘部会長）

史料選択方法

- ・主要テーマに沿って、新井部会長、専門調査員（杉山・石居）で分担して家別文書を調査。

史料状況

- ・『横浜毎日新聞』（明治前期）の記事・『武相自由民権史料集』の八王子関係資料の抜粋

第 1 回 明治中期から昭和初期（都市部）チーム研究会（梅田定宏部会委員）

史料選択方法

- ・梅田部会委員のテーマ案に沿って、各専門調査員が節を担当。
- ・合同調査・選択作業を行い、その場にて検討を加えていく。

実施日：第 1 回（平成 24 年 5 月 3 日） 第 2 回（平成 24 年 7 月 22 日予定）

史料状況

- ・東京都公文書館所蔵の南多摩郡役所資料の選択 ・家別文書の調査

第 1 回 明治中期から昭和初期（農村部）チーム研究会（源川真希部会委員）

史料選択方法

- ・主要テーマに沿って、専門調査員（松田・飯島・井上）で分担して家別文書を調査。資料に沿って、源川部会委員が構成を作成。

史料状況

- ・家別文書の調査

第 1 回 戦中戦後復興期チーム研究会（齊藤勉部会委員・新井勝紘部会長）

史料選択方法

- ・各専門調査員が史料選択を行い、チーム研究会で報告。それを踏まえて、章構成を齊藤部

会委員が作成する。

史料状況

- ・八王子市議会文書の調査
- ・家別文書の調査

第1回 現代チーム研究会（前田成東・佐藤正広部会委員）

史料選択方法

- ・節ごとに各担当者を決め、資料から節の担当者が構成を考える。
- ・チーム研究会にて検討を加え、再度章構成を組み立てる。

史料状況

- ・八王子市議会文書など、各専門調査員の活動
- 各チームの現状について部会委員より報告

（2）検討事項

1. 資料編2および本編について

資料編2について

- ・「チーム研究会の現状について」を踏まえて（各チームの部会委員より意見）

- ・時代別チーム研究会の調整ごと

全時代を通しての課題

- ・都市計画
- ・文化運動

- ・時代をまたぐ分野について

人口・経済（担当：佐藤正広部会委員） 宗教（担当：畔上専門調査員）

交通（担当：山口専門調査員） 織物（担当：鈴木専門調査員）

教育（担当：佐藤高樹専門調査員）

それぞれの章の項目に沿って、分野別担当者が資料を選択し、チーム研究会にて検討を加える。

全体のバランスは、部会会議にて決定する。

本編の区切り方について 1冊の頁数（目次等含む）・・・800頁

事務局案1：

本編1：明治から昭和初期まで（平成27年度刊行）

（明治前期チーム、明治中期から昭和初期（都市部・農村部）チーム）

本編2：戦中期から現代（平成28年度刊行）

（戦中戦後復興期チーム、現代チーム）

事務局案2：

本編1：明治～戦中まで（平成27年度刊行）

（明治前期チーム、明治中期から昭和初期（都・農）チーム、戦中戦後復興期チーム）

本編2：戦後復興期から現代まで（平成28年度刊行）

（戦中戦後復興期チーム、現代チーム）

(3) その他

統計資料について(佐藤正広部会委員)

『叢書』として出版するか?

<現在の作業状況>

戦前:『東京府統計書』の八王子関係箇所のコピーとメタデータの作成

戦後:『統計八王子』は入力済み。決算書の入力作業(昭和33年度以降)

戦前の『東京府統計書』の作業は、資料のコピーと資料の状況をまとめた表で、具体的な数字は入力していない。庁内印刷にて部会内にて配布(平成25年度)。

戦後は、『統計八王子』と決算書を年次ごとに組み替え、表(グラフ)を再構成する。

戦後の統計として、表とグラフを校正して出版(平成25~26年度)。

配布資料一覧

資料1 平成24年度八王子市史編集専門部会近現代部会 検討課題

資料2 市史編さん室利用可能資料一覧

資料3 資料編2(『新八王子市史』資料編6 近現代2)章構成テーマ別構成案

| | | |
|---|--|---|
| <p>部 会 名</p> <p>自然部会</p> | <p>平成 23 年度 第 2 回 自然部会 企画会議</p> | <p>開催（実施）日時 平成 24 年 3 月 8 日（木） 午前・午後 1 時 30 分～ 午前・午後 4 時 30 分まで</p> |
| <p>報告者（部会長氏名） < 敬称略 ></p> | <p>畔上能力</p> | <p>専門員氏名 佐藤千枝</p> |
| <p>出席者（参加者）氏名 < 敬称略 ></p> | <p>部会長 畔上能力 部会委員 奥田重俊 粕谷和夫 草野保 岡崎弘幸 須田真一 特定部会委員 山崎晴雄 専門調査員 内野秀重 【事務局】木内基容子 新井雅人 長谷部晃一 佐藤千枝</p> | |
| <p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>平成 25 年度刊行の『新八王子市史 自然編』について話し合った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出版企画書案について <ul style="list-style-type: none"> ・体裁、刊行予定の設定などについて 2. スケジュールについて（原稿執筆期間内の詳細スケジュール） 3. 目次案について 4. 内容について <ul style="list-style-type: none"> ・コラム、「研究者列伝」等について 5. 引用文献、参考文献について <ul style="list-style-type: none"> ・文中表記について ・未発表文献の表記について 6. 執筆要項案について 7. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・図版作成について ・絶滅危惧種記述について <p>全体会議日程 平成 24 年 4 月 8 日（日）を予定。</p> <p>【配布資料一覧】</p> <p>『新八王子市史 自然編』</p> <ul style="list-style-type: none"> 出版企画書案 スケジュール案（原稿執筆期間内） 目次案 -1 目次案 -2 目次案の修正提案 -3 目次案（修正版） コラムタイトル案 研究者列伝候補者案 参考文献一覧案 執筆要項案 図版作成における下図見本 各種資料（谷戸名称等） | | |

| | | |
|---|---|---|
| <p>部 会 名</p> <p>自然部会</p> | <p>平成 24 年度 第 1 回 自然部会 全体会議</p> | <p>開催（実施）日時 平成 24 年 4 月 8 日（日） 午前・午後 2 時 00 分～ 午前・午後 5 時 00 分まで</p> |
| <p>報告者（部会長氏名） <敬称略></p> | <p>畔上能力</p> | <p>専門員氏名 佐藤千枝</p> |
| <p>出席者（参加者）氏名 <敬称略></p> | <p>部会長 畔上能力 ほか 39 名（別紙出席者名簿参照） 【事務局】木内基容子 齋藤和仁 長谷部晃一 秋山和英 渡部恵一 佐藤千枝</p> | |
| <p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>市史編さんの事業概要と『新八王子市史 自然編』構想の再確認をするとともに、執筆を開始するにあたって詳細事項を話し合った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全体会議開会（資料確認、次第説明） 2. 部会長の挨拶 3. 部会員の紹介 4. 市史編さん室長の挨拶と市史編さん事業概要について 5. 『自然編』の構想について 6. 執筆について 7. 質問票への回答 8. 全体会議閉会 9. 分野ごとの打ち合わせ <p>【配布資料一覧】</p> <ul style="list-style-type: none"> 座席表 次第 自然部会構成図（全体・動植物） 自然部会名簿（区分別・分野別） 『八王子市史研究 第 2 号』（編さん基本構想・市史編集方針） 市史編さん事業の概要 『新八王子市史 自然編』出版企画書（刊行要領および編集方針） 『新八王子市史 自然編』目次案（コラムサンプル、タイトル案） 『新八王子市史 自然編』執筆要項案 『新八王子市史』原稿執筆等の謝礼について 図版作成の際の下図 質問票 | | |

| | | |
|---|---|--|
| <p>部 会 名</p> <p>自然部会</p> | <p>平成 24 年度 第 1 回 自然部会 企画会議</p> | <p>開催（実施）日時 平成 24 年 4 月 23 日（月） 午前・午後 6 時 00 分～ 午前・午後 8 時 00 分まで</p> |
| <p>報告者（部会長氏名） <敬称略></p> | <p>畔上能力</p> | <p>専門員氏名 佐藤千枝</p> |
| <p>出席者（参加者）氏名 <敬称略></p> | <p>部会長 畔上能力 部会委員 奥田 重俊 草野 保 須田 真一 専門調査員 内野 秀重 【事務局】 齋藤和仁 長谷部晃一 佐藤千枝</p> | |
| <p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>主に、平成 25 年度刊行の『新八王子市史 自然編』における目次案と執筆要項案について話し合った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 目次案について <ul style="list-style-type: none"> ・全体会議の内容を踏まえて（現時点での）最終決定を行う。 2. 執筆要項案について <ul style="list-style-type: none"> ・最終確認を行う。 3. 上記資料を早急に執筆依頼書とともに執筆者全員に送付することとする。 <p>【配布資料一覧】</p> <p>『新八王子市史 自然編』</p> <p>目次案</p> <p>執筆要項案</p> | | |

| | 区分 | 分野 | 氏名 | | 区分 | 分野 | 氏名 |
|----|--------|-------------|--------|----|-------|------------|--------|
| 1 | 部会長 | 植物 | 畔上 能力 | 21 | 専門調査員 | 昆虫類 | 伊東 憲正 |
| 2 | 副部会長 | 鳥類 | 粕谷 和夫 | 22 | 専門調査員 | 植物 | 内野 秀重 |
| 3 | 部会委員 | 植物 | 新井 二郎 | 23 | 専門調査員 | 昆虫類 | 岡島 賢太郎 |
| 4 | 部会委員 | 哺乳類 | 岡崎 弘幸 | 24 | 専門調査員 | 魚類・ 昆虫類 | 鎌田 一幸 |
| 5 | 部会委員 | 植物 | 奥田 重俊 | 25 | 専門調査員 | 昆虫類 | 岸田 泰則 |
| 6 | 部会委員 | 両生類・ 爬虫類 | 草野 保 | 26 | 専門調査員 | 貝類 | 黒住 耐二 |
| 7 | 部会委員 | 昆虫類 | 須田 真一 | 27 | 専門調査員 | クモ類 | 甲野 涼 |
| 8 | 部会委員 | 昆虫類 | 須田 孫七 | 28 | 専門調査員 | 哺乳類 | 繁田 真由美 |
| 9 | 部会委員 | 植物 | 菱山 忠三郎 | 29 | 専門調査員 | 昆虫類 | 高橋 秀男 |
| 10 | 特定部会委員 | 昆虫類 | 小俣 軍平 | 30 | 専門調査員 | 魚類 | 西方 肇 |
| 11 | 特定部会委員 | 魚類 | 加藤 憲司 | 31 | 専門調査員 | クモ類 | 初芝 伸吾 |
| 12 | 特定部会委員 | 地質 | 久保 純子 | 32 | 専門調査員 | 昆虫類 | 雛倉 正人 |
| 13 | 特定部会委員 | クモ類 | 新海 栄一 | 33 | 専門調査員 | 昆虫類 | 福田 晴男 |
| 14 | 特定部会委員 | 地質 | 鈴木 毅彦 | 34 | 専門調査員 | 昆虫類 ・魚類 | 堀口 剛 |
| 15 | 特定部会委員 | 気象 | 高橋 日出男 | 35 | 専門調査員 | きのこ類 | 松井 英幸 |
| 16 | 特定部会委員 | 地質 | 松山 洋 | 36 | 専門調査員 | 昆虫類 | 松原 豊 |
| 17 | 特定部会委員 | 地質 | 山崎 晴雄 | 37 | 専門調査員 | 哺乳類 | 三ヶ原 靖規 |
| 18 | 専門調査員 | 昆虫類 | 浅沼 浩 | 38 | 専門調査員 | 哺乳類 | 峰下 耕 |
| 19 | 専門調査員 | 昆虫類 | 石田 和男 | 39 | 調査員 | 植物・全 体 | 小林 健人 |
| 20 | 専門調査員 | 昆虫類 | 伊藤 元 | 40 | 調査員 | 哺乳類 | 松山 龍太 |

| | | |
|---|---|---|
| 部 会 名 | 民俗部会 由木地区第 2 回合同調査 (平成 23 年度第 2 回目) | 開催(実施)日時 平成 24 年 3 月 26 日(月) 午前 <input type="checkbox"/> 午後 <input checked="" type="checkbox"/> 1 時 30 分 ~ 午前 <input type="checkbox"/> 午後 <input checked="" type="checkbox"/> 4 時 30 分まで |
| 報告者(部会長氏名) <敬称略> | 小川直之 | 専門員氏名 春日祐美 |
| 出席者(参加者)氏名 <敬称略> | 部会委員 入江英弥 小野寺節子 加藤隆志 宮本八恵子 専門調査員 乾賢太郎 大藪裕子 神かほり 美甘由紀子 【事務局】佐藤広 春日祐美 | |
| <p>概要(末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください。)</p> <p>越野の民俗と暮らしについて 越野会館(八王子市越野 728-2)にて、地域の方 7 人に集ってもらい聞き取り調査を実施した。</p> | | |

| | | |
|---|---|--|
| 部 会 名 | 平成 24 年度 第 1 回民俗部会会議 | 開催（実施）日時 平成 24 年 4 月 20 日（金） 午前 <input type="checkbox"/> 午後 <input checked="" type="checkbox"/> 6 時 00 分～ 午前 <input type="checkbox"/> 午後 <input checked="" type="checkbox"/> 8 時 00 分まで |
| 報告者（部会長氏名） < 敬称略 > | 小川直之 | 専門員氏名 春日祐美 |
| 出席者（参加者）氏名 < 敬称略 > | 部会長 小川直之 部会委員 入江英弥 小野寺節子 加藤隆志 宮本八恵子 津山正幹 専門調査員 高久舞 美甘由紀子 【事務局】 木内基容子 齋藤和仁 佐藤広 秋山和英 尾崎佐智子 春日祐美 | |
| <p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください。）</p> <p>1．民俗調査報告書第 1 集「恩方の民俗」について</p> <p>(1) 内容確認</p> <p>正誤表は作らずシールで対応する。数によっては表にする。</p> <p>民俗調査報告書第 2 集「由木の民俗」からは章項節の表記を次のように統一する。</p> <p>第 1 章</p> <p>—</p> <p>(一)</p> <p>第 2 集「由木の民俗」からはイラストの縮小拡大を考えて編集する。</p> <p>また、イラスト作成者の氏名を表記する。</p> <p>(2) 「恩方の民俗」献本の配布方法および配布先</p> <p>協力者、協力機関には事務局から送付する。各執筆者が献本を考えている相手については、事務局で重複などをチェックした後、それぞれの執筆者が調整して送付する。</p> <p>(3) 「恩方の民俗」のパブリシティおよび販売方法</p> <p>市の広報に刊行した旨を掲載。新聞各紙に掲載依頼する。</p> <p>金額は 1000 円。販売場所は「市史編さん室」「郷土資料館」「八王子駅南口総合事務所」「本庁舎内市政資料室」などの予定。そのほかの場所についても検討中。</p> <p>2．民俗調査報告書第 2 集「由木の民俗」について</p> <p>(1) スケジュール確認</p> <p>第 1 稿の締め切りは平成 24 年 8 月 15 日。</p> <p>第 1 稿は「完成稿」を提出。話者への内容確認は、業者への入稿前に完了させる。</p> <p>浅川の実踏調査は秋以降にする。</p> <p>東中野・大塚付近でも合同調査を予定。</p> <p>(2) 調査時の配布資料</p> <p>執筆者は、調査時に話者から「氏名の漢字表記と読み仮名」「住所」「電話番号」を聞き、報告</p> | | |

書への氏名掲載可否、協力者への氏名掲載が可能か確認することにする。

3. その他連絡事項等

(1) 調査時の記念品について

授産施設に協力を要請、具体的な品物については相談中で、配布時期も未定。

(2) 調査レポートを配布

事前に提出されたレポートのほか、会議当日に津山委員、高久調査員から追加提出。

(3) その他

- ・資料5「調査記録」には、次回より調査者名も記載して配布する。
- ・平成24年度刊行の叢書は、仮題名を「八王子市史叢書 聞き書きでつづる八王子織物」とし、執筆には宮本八恵子部会委員、神かほり専門調査員、美甘由紀子専門調査員があたる。

4. 次回部会会議の開催日程について

次回会議は6月28日(木)に開催

【配布資料一覧】

1. 平成24年度第1回民俗部会会議次第
2. 献本先一覧(資料1)
3. 調査時の配布資料(資料2)
4. 八王子市史民俗調査レポート(2012/2/24)宮本委員提出(資料3-1)
5. 八王子市史民俗調査レポート・テーマ別調査「八王子織物」(2012/2/27)
宮本委員提出(資料3-2)
6. 八王子市史民俗調査レポート(2012/3/6)宮本委員提出(資料3-3)
7. 八王子市史民俗調査レポート(2012/3/9)宮本委員提出(資料3-4)
8. 八王子市史民俗調査レポート・八王子織物資料(2012/12/2・2012/3/9)
宮本委員提出(資料3-5)
9. 八王子市史民俗調査レポート(2012/3/26)宮本委員提出(資料3-6)
10. 八王子市史民俗調査レポート(2012/2/8)神調査員提出(資料3-7)
11. 八王子市史民俗調査レポート(2012/2/24)神調査員提出(資料3-8)
12. 八王子市史民俗調査レポート(2010/3/26)神調査員提出(資料3-9)
13. 八王子市史民俗調査レポート(2012/4/4)神調査員提出(資料3-10)
14. 八王子市史民俗調査レポート(2012/2/28)加藤委員提出(資料3-11)
15. 八王子学園都市大学 いちょう塾公開講座のお知らせ(資料4)
16. 調査記録(平成24年4月20日現在)(資料4)
17. 小谷田家間取り(津山委員 会議当日提出)
18. 南大沢囃子連、表 八王子市・目黒区の祭囃子(高久調査員 会議当日提出)
19. 民俗叢書について

| | | |
|---------------------|--|--|
| 部 会 名 | 平成 24 年度 第 2 回民俗部会会議 | 開催（実施）日時 平成 24 年 6 月 28 日（木） 午前 <input type="checkbox"/> 午後 <input checked="" type="checkbox"/> 6 時 00 分～ 午前 <input type="checkbox"/> 午後 <input checked="" type="checkbox"/> 8 時 00 分まで |
| 報告者（部会長氏名） <敬称略> | 小川直之 | 専門員氏名 春日祐美 |
| 出席者（参加者）氏名 <敬称略> | 部会長 小川直之 部会委員 入江英弥 小野寺節子 加藤隆志 津山正幹 宮本八恵子 専門調査員 高久舞 美甘由紀子 【事務局】木内基容子 齋藤和仁 佐藤広 尾崎佐智子 春日祐美 | |

概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください。）

1. 民俗調査報告書第 2 集「由木の民俗」について

(1) 刊行スケジュール

スケジュール案（資料 1）よりも原稿調整の期間を短縮。

初校は年内に終了、年明けには業者に初校返却できるようにする。

スケジュール上問題がなければ、執筆者も 2 校校正する。

(2) 調査の進捗状況と各員からの調査レポート報告

提出した調査レポートに沿って、各員が調査の現況を報告した。

(3) 由木地区合同調査について

平成 24 年 7 月 9 日（月）午後 1 時半から 大塚八幡神社（八王子市大塚 518）にて開催する。

参加者は小野寺委員、宮本委員、高久調査員。

（ほかに会議には欠席の神調査員、乾調査員も合同調査には参加すると連絡があった）

2. 八王子市史叢書 について

(1) 体裁、構成等について

体裁については資料 5 に沿って事務局が報告。

内容については、宮本委員から報告。「ムラの機屋」「織り子の声」「マチの機業とその関係者」「八王子織物を支えたモノ」を柱として構成する。

映像を DVD にして収録する提案が出された。

(2) 刊行スケジュール

スケジュール案（資料 1）通りに刊行できるよう進める。

3. その他

(1) 八王子市史研究第 3 号での「恩方の民俗」紹介について

執筆は小川部会長に決定。

そのほか『民具研究』『多摩のあゆみ』『民具マンスリー』にも紹介してもらえるよう依頼する。

(2) 調査時の記念品について

しおりと手ぬぐいが完成し、しおり 5 点、手ぬぐい 5 点を各員に配布。使用した場合は、活動報告書に点数を記載する。

(3) その他

市史研究 4 号へは、高久舞専門調査員が執筆することが決定。

来年度のいちょう塾は、加藤委員と入江委員に講師を依頼する。

4. 次回部会会議の開催日程について

平成 24 年 9 月 21 日（金）午後 6 時 15 分から午後 8 時まで。

【配布資料一覧】

- 1.平成 24 年度第 1 回民俗部会会議次第
- 2.刊行スケジュール案（資料 1）
- 3.調査記録（資料 2）
- 4.田中亘氏所蔵資料目録（資料 3-1）
- 5.石井貞行氏所蔵資料目録（資料 3-2）
- 6.八王子市史民俗調査レポート（2012/4/23）加藤委員提出（資料 4-1-1）
- 7.八王子市史民俗調査レポート（2012/5/15）加藤委員提出（資料 4-1-2）
- 8.八王子市史民俗調査レポート（2012/6/18）加藤委員提出（資料 4-1-3）
- 9.八王子市史民俗調査レポート（2010/1/10）神調査員提出（資料 4-2-1）
- 10.八王子市史民俗調査レポート（2010/3/31）神調査員提出（資料 4-2-3）
- 11.八王子市史民俗調査レポート（2012/5/25）神調査員提出（資料 4-2-4）
- 12.八王子市史民俗調査レポート（2012/5/25）神調査員提出（資料 4-2-5）
- 13.八王子市史民俗調査レポート（2010/6/3）神調査員提出（資料 4-2-6）
- 14.八王子市史民俗調査レポート（2012/5/21）宮本委員提出（資料 4-3-1）
- 15.八王子市史民俗調査レポート（2012/5/25）宮本委員提出（資料 4-3-2）
- 16.八王子市史民俗調査レポート（2012/6/3）宮本委員提出（資料 4-3-3）
- 17.八王子市史民俗調査レポート（2012/6/14）宮本委員提出（資料 4-3-4）
- 18.八王子市史民俗調査レポート（2012/5/10）美甘調査員提出（資料 4-4）
- 19.八王子市史民俗調査レポート（2012/6/25）佐藤専門管理官提出（資料 4-5）
- 20.八王子市史民俗調査レポート（2012/4/11）高久調査員提出（資料 4-6-1）
- 21.八王子市史民俗調査レポート（2012/5/4）高久調査員提出（資料 4-6-2）
- 22.八王子市史民俗調査レポート（2012/6/15）高久調査員提出（資料 4-6-3）
- 23.八王子市史民俗調査レポート（2012/6/21）高久調査員提出（資料 4-6-4）
- 24.八王子市史民俗調査レポート（2012/5/21）大藪調査員提出（資料 4-7）
- 25.『八王子市史叢書』の刊行について（案）（資料 5）
- 26.八王子市史民俗調査レポート（2012/3/26）入江委員 当日提出
- 27.八王子市史民俗調査レポート（2012/3-6）小野寺委員 当日提出
- 28.八王子市史民俗調査レポート 津山委員 当日提出

| 内容 | | |
|---------------------------|-----|----------|
| 流域 | 時代 | 遺跡名 |
| 本扉 | | |
| 刊行にあたって | | |
| 監修のことば | | |
| 凡例 | | |
| 目次 | | |
| 扉 「 時代区分と流域設定について」 | | |
| 本文 | | |
| 扉 「 八王子市内の遺跡概要」 | | |
| 旧石器時代の遺跡 | | |
| 縄文時代の遺跡 | | |
| 弥生時代の遺跡 | | |
| 古墳時代の遺跡 | | |
| 奈良・平安時代の遺跡 | | |
| コラム 遺跡とは その1 | | |
| 扉 「 河川流域に見る遺跡群 谷地川・多摩川流域」 | | |
| 谷地 | 旧石器 | 宇津木台 |
| 谷地 | 旧石器 | 西野 |
| 谷地 | 旧石器 | 下耕地 |
| 谷地 | 旧石器 | 石川天野 |
| 谷地 | 旧石器 | 寺前 |
| コラム 石器の種類と機能 | | |
| 谷地 | 縄文 | 戸吹 |
| 谷地 | 縄文 | 櫛谷 |
| 谷地 | 縄文 | 大町 |
| 谷地 | 縄文 | 半蔵窪 |
| 谷地 | 縄文 | 宇津木台 |
| 谷地 | 縄文 | 宇津木向原 |
| 谷地 | 縄文 | 塚場 |
| 谷地 | 縄文 | 下耕地 |
| 谷地 | 縄文 | 鶴舞 |
| 谷地 | 縄文 | 南谷 |
| 谷地 | 弥生 | 石川天野・春日台 |
| 谷地 | 弥生 | 宇津木向原・尾崎 |
| 谷地 | 弥生 | 鞍骨山 |
| 谷地 | 弥生 | 富士見町 |
| 谷地 | 古墳 | 北大谷古墳 |
| 谷地 | 古墳 | 狐塚古墳 |
| 谷地 | 古墳 | 小宮古墳 |
| 谷地 | 古墳 | 宇津木台 |
| 谷地 | 古墳 | 西野 |
| 谷地 | 古墳 | 創価大学太陽の丘 |
| 谷地 | 古墳 | 石川天野 |
| 谷地 | 奈・平 | 櫛谷 |
| 谷地 | 奈・平 | 宇津木台 |
| 谷地 | 奈・平 | 塚場 |
| 谷地 | 奈・平 | 創価大学太陽の丘 |
| 谷地 | 奈・平 | 明王下 |
| 谷地 | 奈・平 | 谷野瓦窯 |
| コラム 関東ローム層と石器 | | |
| 扉 「 河川流域に見る遺跡群 浅川・川口川流域」 | | |
| 浅川 | 縄文 | 力石 |
| 浅川 | 縄文 | 狐塚 |

| 内容 | | |
|-----|------|-------------------------|
| 流域 | 時代 | 遺跡名 |
| 浅川 | 縄文 | 十内入東 |
| 浅川 | 縄文 | 深沢 |
| 浅川 | 縄文 | 宮田 |
| 浅川 | 縄文 | 中原 |
| 浅川 | 縄文 | 小田野 |
| 浅川 | 縄文 | 檜原 |
| 浅川 | 縄文 | 弁天橋・弁天橋西 |
| 浅川 | 縄文 | 赤根 |
| 浅川 | 縄文 | 中田 |
| 浅川 | 縄文 | 弁天池 |
| 浅川 | 縄文 | 船田 |
| 浅川 | 縄文 | 鍛冶屋敷 |
| 浅川 | 縄文 | 水崎 |
| 浅川 | 縄文 | 狭間 |
| 浅川 | 縄文 | 裏宿 |
| 浅川 | 縄文 | 辺名 |
| 浅川 | 縄文 | 落越 |
| 浅川 | 弥生 | 叶谷 |
| 浅川 | 弥生 | 犬目甲の原・中野犬目境・戸板女子短大・井戸尻上 |
| 浅川 | 弥生 | 檜原・原屋敷 |
| 浅川 | 弥生 | 中野甲の原 |
| 浅川 | 弥生 | 中田 |
| 浅川 | 弥生 | 山王林 |
| 浅川 | 弥生 | 中郷・船田 |
| 浅川 | 弥生 | 水崎 |
| 浅川 | 古墳 | 川口古墳 |
| 浅川 | 古墳 | 鹿島古墳 |
| 浅川 | 古墳 | 船田古墳 |
| 浅川 | 古墳 | 大和田横穴群 |
| 浅川 | 古墳 | 中野甲の原 |
| 浅川 | 古墳 | 西中野 |
| 浅川 | 古墳 | ひよどり山古墳 |
| 浅川 | 古墳 | 弁天池北 |
| 浅川 | 古墳 | 中田 |
| 浅川 | 古墳 | 船田 |
| 浅川 | 奈・平 | 中野甲の原 |
| 浅川 | 奈・平 | 中田 |
| 浅川 | 奈・平 | 一丁平 |
| 浅川 | 奈・平 | 船田・中郷 |
| 浅川 | 奈・平 | 赤根 |
| 浅川 | 奈・平 | 落越 |
| コラム | 遺跡とは | その2 |
| 扉 | 「 | 河川流域に見る遺跡群 湯殿川・山田川流域」 |
| 湯殿 | 旧石器 | 小比企向原 |
| 湯殿 | 縄文 | 御所水 |
| 湯殿 | 縄文 | 神谷原 |
| 湯殿 | 縄文 | 梶田 |
| 湯殿 | 縄文 | 梶田 ・ 梶田 |
| 湯殿 | 縄文 | 館町 515 |
| 湯殿 | 縄文 | 館町 |
| 湯殿 | 縄文 | 日南田 |
| 湯殿 | 縄文 | 南八王子 13・南八王子 15 |

| 内容 | | |
|-----|------|-------------------|
| 流域 | 時代 | 遺跡名 |
| 湯殿 | 縄文 | 小比企向原 |
| 湯殿 | 縄文 | 滑坂 |
| 湯殿 | 縄文 | 郷田原・南八王子 11 |
| 湯殿 | 縄文 | 大原D |
| 湯殿 | 弥生 | 御所水 |
| 湯殿 | 弥生 | 神谷原 |
| 湯殿 | 弥生 | 梶田 ・ 梶田 |
| 湯殿 | 弥生 | 南八王子 11・郷田原 |
| 湯殿 | 古墳 | 日向四谷 |
| 湯殿 | 古墳 | 館町 515・館町 |
| 湯殿 | 古墳 | 平塚 |
| 湯殿 | 古墳 | 南八王子 3・南八王子 5 |
| 湯殿 | 古墳 | 大原A・大原D |
| 湯殿 | 古墳 | 小比企向原・滑坂 |
| 湯殿 | 奈・平 | 梶田 |
| 湯殿 | 奈・平 | 南八王子 16 |
| 湯殿 | 奈・平 | 南八王子 38 |
| 湯殿 | 奈・平 | 下寺田 |
| 湯殿 | 奈・平 | 要石 |
| 湯殿 | 奈・平 | 下寺田西 |
| 湯殿 | 奈・平 | 日南田 |
| 湯殿 | 奈・平 | 龍見寺経塚 |
| 湯殿 | 奈・平 | 時田 |
| 湯殿 | 奈・平 | 館町第6地点・館町 515 |
| 湯殿 | 奈・平 | 打越中谷戸 |
| 湯殿 | 奈・平 | 打越大畑 |
| 湯殿 | 奈・平 | 打越小ザス |
| 湯殿 | 奈・平 | 御殿山窯跡群 |
| コラム | 遺跡とは | その3 |
| 扉 | 「 | 河川流域に見る遺跡群 大栗川流域」 |
| 大栗 | 旧石器 | 多摩NT 309 |
| 大栗 | 旧石器 | 多摩NT 213 |
| 大栗 | 旧石器 | 多摩NT 167 |
| 大栗 | 旧石器 | 多摩NT 301 |
| 大栗 | 旧石器 | 多摩NT 113 |
| 大栗 | 旧石器 | 多摩NT 166 |
| 大栗 | 旧石器 | 多摩NT 388・389 |
| 大栗 | 旧石器 | 多摩NT 125・126 |
| 大栗 | 旧石器 | 多摩NT 402 |
| 大栗 | 旧石器 | 多摩NT 401 |
| 大栗 | 旧石器 | 多摩NT 396 |
| 大栗 | 旧石器 | 多摩NT 512 |
| 大栗 | 旧石器 | 多摩NT 72 |
| 大栗 | 旧石器 | 多摩NT 421 |
| 大栗 | 縄文 | 多摩NT 309 |
| 大栗 | 縄文 | 多摩NT 426 |
| 大栗 | 縄文 | 多摩NT 796 |
| 大栗 | 縄文 | 多摩NT 116 |
| 大栗 | 縄文 | 多摩NT 125・126 |
| 大栗 | 縄文 | 多摩NT 237・962 |
| 大栗 | 縄文 | 多摩NT 304 |
| 大栗 | 縄文 | 多摩NT 113 |

| 内容 | | |
|----------------------|-----|------------------|
| 流域 | 時代 | 遺跡名 |
| 大栗 | 縄文 | 多摩NT 432 |
| 大栗 | 縄文 | 多摩NT 358 |
| 大栗 | 縄文 | 多摩NT 406 |
| 大栗 | 縄文 | 多摩NT 145 |
| 大栗 | 縄文 | 多摩NT 300 |
| 大栗 | 縄文 | 多摩NT 107 |
| 大栗 | 縄文 | 多摩NT 72 |
| 大栗 | 縄文 | 多摩NT 446 |
| 大栗 | 縄文 | 多摩NT 67 |
| 大栗 | 弥生 | 多摩NT 846 |
| 大栗 | 弥生 | 多摩NT 421 |
| 大栗 | 古墳 | 多摩NT 446 |
| 大栗 | 古墳 | 多摩NT 327・329・330 |
| 大栗 | 古墳 | 多摩NT 556 |
| 大栗 | 奈・平 | 多摩NT 325 |
| 大栗 | 奈・平 | 多摩NT 219 |
| 大栗 | 奈・平 | 多摩NT 304 |
| 大栗 | 奈・平 | 多摩NT 178 |
| 大栗 | 奈・平 | 多摩NT 241 |
| 大栗 | 奈・平 | 多摩NT 125 |
| 大栗 | 奈・平 | 多摩NT 107 |
| 大栗 | 奈・平 | 多摩NT 387・388・389 |
| 大栗 | 奈・平 | 多摩NT 446 |
| 大栗 | 奈・平 | 多摩NT 436 |
| 大栗 | 奈・平 | 多摩NT 424 |
| 大栗 | 奈・平 | 多摩NT 426 |
| 大栗 | 奈・平 | 多摩NT 390・391 |
| 大栗 | 奈・平 | 多摩NT 836 |
| 大栗 | 奈・平 | 多摩NT 419・420・421 |
| 大栗 | 奈・平 | 白山神社経塚群 |
| 大栗 | 奈・平 | 大塚 |
| 大栗 | 奈・平 | 大法寺裏 |
| 大栗 | 奈・平 | 百草・和田1号窯 |
| コラム 土器と陶磁器 | | |
| コラム扱い 保存公開遺跡の案内 | | |
| コラム 年代と地域によって変わる土器の形 | | |
| 扉 「資料」 | | |
| 八王子市出土文字資料一覧 | | |
| 参考文献一覧 | | |
| 八王子市遺跡一覧 | | |
| 八王子市遺跡名一覧(50音順) | | |
| 協力者一覧 | | |
| 執筆分担一覧 | | |
| 八王子市史編さん関係者名簿 | | |
| 編集後記 | | |
| 奥付 | | |
| 付図 | | |

『新八王子市史 資料編3 近世1』の章立て・目次案

| 章 | 章名称 | 節 | 節名称 | 項 | 項名称 | | |
|---|------------|----|----------------------|------------------|---------------|-------------|----|
| 1 | 近世八王子の町と市 | 1 | 八王子町の成立と構造 | 1 | 八王子町の成立と支配 | | |
| 1 | | 1 | | 2 | 八王子町の構造 | | |
| 1 | | 2 | 市の仕組みと市をめぐる争論 | 1 | 八王子市の仕組み | | |
| 1 | 2 | 2 | | 市をめぐる宿内の争論 | | | |
| 1 | 2 | 3 | | 市運上をめぐる争論(三河屋一件) | | | |
| 1 | 2 | 4 | | 府中宿市立出願一件 | | | |
| 1 | 2 | 5 | | 市をめぐる取極と争論 | | | |
| 1 | 2 | | | 文政元年八王子市場一件 | | | |
| 1 | 2 | 6 | | 縞買仲間の取極 | | | |
| 1 | 2 | 7 | | 八王子市の機能 | | | |
| 1 | | 2 | 8 | 市運上 | | | |
| 1 | | 3 | 町の住民と生業 | 1 | 米穀問屋 | | |
| 1 | 3 | 2 | | 青物関係 | | | |
| 1 | 3 | 3 | | 肴仲買関係 | | | |
| 1 | 3 | 4 | | 質屋関係 | | | |
| 1 | 3 | 5 | | 古着・古鉄買 | | | |
| 1 | 3 | 5 | | 酒醤油関係 | | | |
| 1 | 3 | 6 | | 相撲渡世 | | | |
| 1 | 3 | 7 | | 湯屋 | | | |
| 1 | 3 | 8 | | 番小屋 | | | |
| 1 | 3 | 9 | | 地借・店借 | | | |
| 1 | | 4 | | 天保の飢饉と災害・事件 | 1 | 天保の飢饉と八王子町 | |
| 1 | 4 | 2 | | | 火災・災害 | | |
| 1 | 4 | 3 | | | 盗難その他事件 | | |
| 1 | | 5 | 町機能維持施設 | 1 | 時の鐘 | | |
| 1 | 5 | 2 | | 用悪水 | | | |
| 1 | 5 | 3 | | 消防 | | | |
| 1 | | 6 | 町の神社と祭礼 | 1 | 八幡・天王社 多賀神社 | | |
| 1 | 6 | 2 | | 十夜 | | | |
| 1 | 6 | 3 | | 市神稻荷 | | | |
| 1 | (甲州道中と八王子) | 7 | 八王子宿の機構と構造 | 1 | 八王子宿の概要と仕組み | | |
| 1 | | 8 | | 1 | 宿を往来する人 | | |
| 1 | | 8 | | 2 | 往来する物 | | |
| 1 | | 8 | | 3 | 宿役人とその役割 | | |
| 1 | | 8 | | 4 | 宿助成金・拝借金 | | |
| 1 | | 8 | | 5 | 駄賃・人足賃 | | |
| 1 | | 8 | | 6 | 高札その他 | | |
| 1 | | 8 | | 7 | 浅川川越 | | |
| 1 | | | | 9 | 本陣・旅籠屋 | 1 | 本陣 |
| 1 | | 9 | | 2 | | 旅籠屋 | |
| 1 | | 9 | | 3 | | 料理人 | |
| 1 | | 9 | | 4 | | 飯売女(飯盛女)取締り | |
| 1 | | | | 10 | 助郷 = 宿駅を支える村々 | | |
| 1 | | 11 | 甲州道中駒木野宿・小仏宿 | 1 | 駒木野宿・小仏宿の概要 | | |
| 1 | 11 | 2 | | 宿駅助成金・拝借金 | | | |
| 1 | 11 | 3 | | 伝馬役・助郷 | | | |
| 1 | 11 | 4 | | 関所(小仏関) | | | |
| 1 | 11 | 5 | | 佐野川往還(陣馬街道) | | | |
| 2 | 八王子を支配した領主 | 1 | 領主の特徴-幕領・旗本領の錯綜と相給支配 | 1 | 初期代官 | | |
| 2 | | 1 | | 2 | 山之根九万石村高改帳 | | |
| 2 | | 1 | | 3 | 旗本知行所郷村高帳 | | |
| 2 | | 1 | | 4 | 御鷹部屋 | | |

| 章 | 章名称 | 節 | 節名称 | 項 | 項名称 |
|---|--------|---|---------------------|---|-----------------------|
| 2 | | 2 | 検地 | | |
| 2 | | 3 | 年貢徴収法と年貢諸役 | 1 | 年貢徴収法 |
| 2 | | 3 | | 2 | 年貢割付状と皆済目録 |
| 2 | | 3 | | 3 | 様々な負担 |
| 2 | | 4 | 年貢諸役をめぐる争論-検見・定免の減免 | 1 | 定免破毀をめぐる門訴一件 |
| 2 | | 4 | | 2 | 東照宮由諸にもとづく諸役免除要求 |
| 2 | | 5 | 幕府広域支配と改革組合村 | 1 | 鉄砲改 |
| 2 | | 5 | | 2 | 改革組合村以前 |
| 2 | | 5 | | 3 | 改革組合村 |
| 2 | | 6 | 御林山 | 1 | 反別等改 |
| 2 | | 6 | | 2 | 手入れ、伐り出し |
| 2 | | 6 | | 3 | 用木の下付 |
| 2 | | 6 | | 4 | 材木売り払い、入札 |
| 2 | | 6 | | 5 | 下草の利用 |
| 2 | | 6 | | 6 | 御用炭焼出 |
| 2 | | 7 | 代官が支配する村 | 1 | (未称) |
| 2 | | | | 2 | 寛政期 |
| 2 | | | | 3 | 天保期 |
| 2 | | | | 4 | (未称) |
| 2 | | 8 | 旗本領主を支える村 | 1 | 旗本家の財政窮乏と家政改革 |
| 2 | | | | 2 | 先納年貢・御用金・調達金の負担 |
| 2 | | | | 3 | 勝手賄い |
| 2 | | | | 4 | 地頭と知行地(儀礼・屋敷奉公・武家奉公人) |
| 3 | 八王子の村々 | 1 | 村のすがたとしくみ | 1 | 十七世紀の村方騒動 |
| 3 | | | | 2 | 近世村落の成立 |
| 3 | | | | 3 | 村の運営 |
| 3 | | | | 4 | 村の掟 |
| 3 | | 2 | 村のくらし | 1 | 村人の誕生と成長 |
| 3 | | | | 2 | 家の相続と家族 |
| 3 | | | | 3 | 村人の病・死・先祖供養(病氣) |
| 3 | | | | 4 | 村のつきあい・村の事件 |
| 3 | | 3 | 村の変化 | 1 | 土地売買・質地 |
| 3 | | | | 2 | 地主の成長と零細百姓の増加 |
| 3 | | | | 3 | 質地小作・地主小作関係と争論 |
| 3 | | 4 | 頻発する争論 村の秩序の変化 | 1 | 十八世紀の村方騒動 |
| 3 | | | | 2 | 徒党 |
| 3 | | | | 3 | 用水 |
| 3 | | | | 4 | 山論・入会 |
| 3 | | 5 | 自然との闘い | 1 | 害獣と農林業 |
| 3 | | | | 2 | 自然災害 - 洪水・大風・山崩れと復旧工事 |
| 3 | | 6 | 凶作・飢饉との闘い | 1 | 凶作・飢饉の実態 |
| 3 | | | | 2 | 飢饉対策 幕府と村(貯蓄・囲い米) |
| 3 | | | | 3 | 天保の飢饉と八王子 |
| 3 | | 7 | 生活の窮乏と救済 | 1 | 窮乏化と救済(領主への要求) |
| 3 | | | | 2 | 窮乏の打開策 永続飢饉・相続講積立仕法 |

参考 資料編4近世2の章立て・目次案

| 章 | 章名称 | 節 | 節名称 | 項 | 項名称 |
|---|---------------------|---|-----|---|-----|
| 4 | 八王子千人同心 | | | | |
| 5 | 八王子の諸生業(養蚕・生糸・織物以外) | | | | |
| 6 | 養蚕・生糸・織物 | | | | |
| 7 | 信仰と文化 | | | | |
| 8 | 幕末維新と八王子 | | | | |

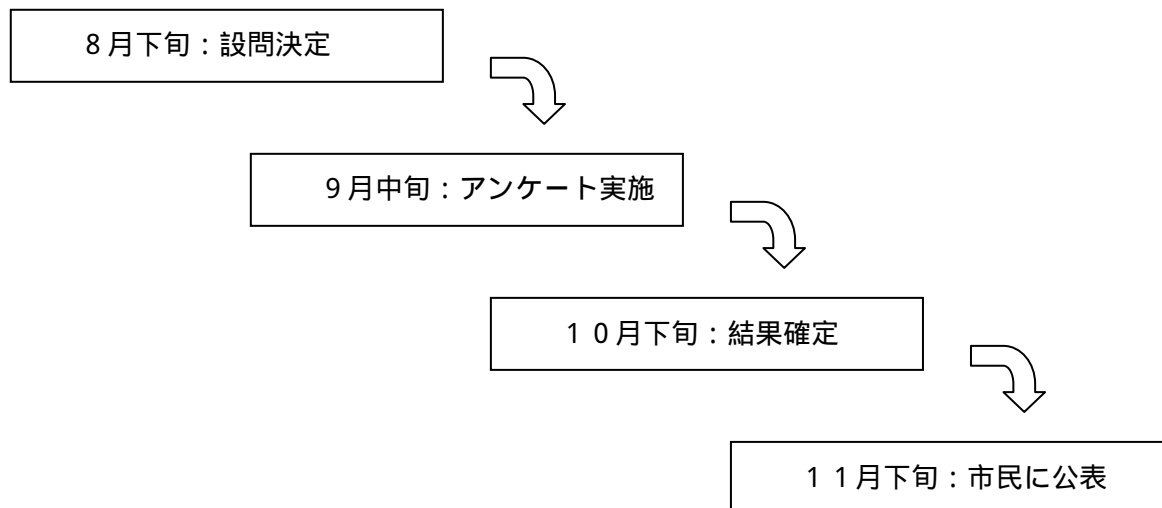
『八王子市史研究』第3号 割付表

平成24年6月末現在

| 内容構成案 | 割付案 | | | | | | |
|-------------------------------------|-----|---------|--------------------------------------|----------|--------|-----|----|
| | No. | 区 分 | 表 題 | 執筆予定者 | 字数 | 頁数 | 備考 |
| (1) 巻頭 | 1 | 口絵 | 口絵 | | | 2 | |
| | 2 | 扉 | 扉 | | | 1 | |
| | 3 | 目次 | 目次 | 事務局 | | 2 | |
| (2) 各専門部会からの 論文・調査報告・ 資料紹介 | 4 | | 扉 | | | 2 | |
| | 5 | 論文等 | 原始・古代部会（通史編に向けて） | 関和彦 | 16,000 | 16 | |
| | 6 | 論文等 | 中世部会 | 小林一岳 | 16,000 | 16 | |
| | 7 | 論文等 | 近世部会 | 山本英貴 | 16,000 | 16 | |
| | 8 | 論文等 | 近現代部会 | 中村元 | 16,000 | 16 | |
| | 9 | 論文等 | 自然部会（ハチオウジアザミ） | 内野秀重 | 16,000 | 16 | |
| | 10 | 論文等 | 民俗部会（むらの商い） | 宮本八恵子 | 16,000 | 16 | |
| | 11 | 資料紹介 | 近世部会 | 神立孝一 | 8,000 | 8 | |
| | 12 | 資料紹介 | 原始・古代部会（龍見寺経塚） | 深澤靖幸 | 8,000 | 8 | |
| | 13 | 調査報告 | 自然部会（ヤブムグラ） | 小俣軍平 | 8,000 | 8 | |
| (3) 一般投稿 | 14 | 論文等 | 投稿原稿 | （公募） | 16,000 | 16 | |
| | 15 | 論文等 | 投稿原稿 | （公募） | 16,000 | 16 | |
| (4) 市史編さん覚書 | 16 | 市史編さん覚書 | 扉 | | | 2 | |
| | 17 | 市史編さん覚書 | 市史編さん基本構想 | | | 4 | |
| | 18 | 市史編さん覚書 | 市史編さん室日誌 | 事務局 | | 2 | |
| | 19 | 市史編さん覚書 | 市史編さん関係者名簿 | 事務局 | | 2 | |
| | 20 | 刊行物紹介 | 『新八王子市史』資料編1原始・古代 | 服部敬史 | | 1 | |
| | 21 | 刊行物紹介 | 『新八王子市史』資料編5近現代1 | 宮崎翔一 | | 1 | |
| | 22 | 刊行物紹介 | 『八王子市史叢書1 村明細帳集成』 | 大木悠佑 | | 1 | |
| | 23 | 刊行物紹介 | 『新八王子市史民俗調査報告書第1集 八王子市西部地域 恩方の民俗』 | 小川直之 | | 1 | |
| (5) 巻末 | 24 | 編集後記 | 編集に際して | 編集委員会委員長 | | 2 | |
| | 25 | 奥付 | 奥付 | 事務局 | | 1 | |
| | 計 | | | | | 174 | |

市政モニターへの設問の基本的な考え方及び設問項目

1. スケジュール



2. 基本的な考え方

- ・以下の項目を柱に展開する。
- (1) 市史編さん事業の周知度
- (2) 歴史・民俗・自然への関心、『新八王子市史』への期待・提案
- (3) 市史編さん事業とまちづくりの関係
- (4) 刊行物販売推進のための参考項目
- (5) 資史料の保存と活用への意見
- (6) その他の自由意見

3. 設問項目(案)

(1) 市史編さん事業の周知度

1. 八王子市が平成 28 年に市制施行 100 周年を迎えることを知っていますか。

知っている

知らない

2. 市制施行 100 周年の記念事業として、市史編さん事業を進めていることを知っていますか。

知っている

【何で知りましたか：広報はちおうじ 市のホームページ 市史刊行物
稲荷山通信 その他()】

知らない

3. 市史編さん事業の一環として実施している講座や活動に参加したことがありますか。

参加したことがある

【何に参加しましたか：いちょう塾 市民講座 野鳥観察会
調査活動への協力 その他()】

参加したことはないが、関心はある

【何に関心がありますか：いちょう塾 市民講座 野鳥観察会
調査活動への協力 その他()】

参加・関心ともがない

4. 市史編さん室だより『稲荷山通信』を読んだことがありますか。

ある

ない

(2) 歴史・民俗・自然への関心、『新八王子市史』への期待・提案

1. 八王子の歴史に関心がありますか。

ある

【特に関心の深い時代やジャンルがあれば、具体的にお書きください。】

()

ない

2. これまでに旧「八王子市史」(昭和38～43年刊行)、「八王子市議会史」、「八王子千人同心史」、「八王子の戦災と空襲の記録」が刊行されていることを知っていますか。

読んだことがある

【それは何ですか：旧「八王子市史」 「八王子市議会史」
「八王子千人同心史」 「八王子の戦災と空襲の記録」】

読んだことはないが、知っている

【それは何ですか：旧「八王子市史」 「八王子市議会史」
「八王子千人同心史」 「八王子の戦災と空襲の記録」】

知らない

3. 『新八王子市史』で取り上げて欲しい事柄や史料等があればお書きください。

(3) 市史編さん事業とまちづくりの関係

八王子のまちづくりについて、あなたの考えに一番近いものをお選びください。

1. 八王子の自然・歴史・文化をよく理解し、伝統を生かしたまちづくりを進めることで、八王子の魅力をアピールすることができると思う。

とてもそう思う

どちらかと言えばそう思う

あまりそうは思わない

2. 地域コミュニティ育成のためには、地域の歴史・文化を知り、共有することが大切だと思う。

とてもそう思う

どちらかと言えばそう思う

あまりそうは思わない

3. まちづくりの市民参加を進めるためには、市民が地域のことを知り、学ぶことができることが大切だと思う。

とてもそう思う

どちらかと言えばそう思う

あまりそうは思わない

4. 今回の市史編さん事業は、市民自らが行うまちづくりに役立てることを目的の一つとしています。そのことについて、あなたが期待することや思うことを何でも自由にお書きください。

(4) 刊行物販売推進のための参考項目

1. 『新八王子市史』を購入する意思はありますか。

購入したい

【購入したいものすべてに をお付けください】

| | 本 編 | 資料編 |
|-------|-----|-----|
| 原始・古代 | | |
| 中世 | | |
| 近世 | | |
| 近現代 | | |
| 自然 | | |
| 民俗 | | |

購入しない

わからない

2. 『新八王子市史』を購入するにあたり、1冊あたりいくらまでなら購入しますか。

～1,000円

1,000円～3,000円

3,000～5,000円

5,000円以上でも

3. 販売場所について、どこを望みますか

市政資料室(市役所本庁舎)

八王子駅南口総合事務所

郷土資料館

市史編さん室(旧稲荷山小学校)

書店

その他

4. 八王子市市史編さん事業による刊行物を持っていますか。

持っている

【それは何ですか：八王子市史研究創刊号 八王子市史研究第2号
村明細帳集成 恩方の民俗 資料編5近現代1】

持っていないが、知っている

【それは何ですか：八王子市史研究創刊号 八王子市史研究第2号
村明細帳集成 恩方の民俗 資料編5近現代1】

持っていない

(5) 資史料の保存と活用への意見

市史編さん事業終了後の資史料の保存と活用について、市では、市民共有の貴重な財産として、専門施設（公文書館や総合情報館など）の整備も視野にいれながら、その保存・活用方法について検討しています。皆様のご意見・ご要望をお聞かせください。

(6) その他の自由意見

その他、ご意見・ご要望があればお書きください。

1. 「広報はちおうじ」8月1日号で市史編さんの特集記事を掲載

「広報はちおうじ」8月1日号で、市史編さん事業の特集が表紙から3ページまで組まれます。各部会の活動の様子や刊行計画が紹介されます。

2. 市史編さん職員研修の開催

市史編さん事業では、八王子の自然や歴史に関するさまざまな資料を収集し調査・研究を進めていますが、その中には、現在、そして今後のまちづくりを考えるうえで役に立つ情報が多く含まれています。そこで、市史編さん事業における成果を職員と共有し、今後のまちづくりに資するとともに、市史編さん事業の周知を図ることを目的に職員研修を開催します。

日 時 平成24年8月9日(木)午後1時30分～3時30分

テーマ 『大正時代の八王子 - 市制施行から大八王子建設へ - 』

講師 八王子市市史編集専門部会近現代部会委員 梅田 定宏 氏

3. 刊行物アンケートはがきを作成

市史編さんの刊行物の読者アンケートを実施するため、アンケートはがきを作成しました。今後、すべての市史編さんの刊行物に差し込むとともに、いただいたアンケート結果を市史編さん事業に活かしていきます。

4. 調査協力者に対するお礼の品の作成

市史編さん事業の調査協力者に対するお礼の品として、「ミニ手拭い」と「しおり」をそれぞれ100ずつ作成しました。これらの品は障害者の団体に作成していただきました。

5. 市民講座の開催

今年度の市民講座は「原始・古代の八王子の遺跡を探る」と題して、原始・古代部会に担当をお願いし、生涯学習センターホールで下記のとおり開催します。

| 期 日 | 時 間 | テーマ | 講師(原始・古代部会委員/敬称略) |
|-------|---------------------|----------|-------------------|
| 10/26 | 18:30 ~ 20:30 | 縄文時代の八王子 | 黒尾 和久 |
| 11/2 | | 弥生時代の八王子 | 及川 良彦 |
| 11/9 | | 古墳時代の八王子 | 池上 悟 |
| 11/16 | | 古代の八王子 | 深澤 靖幸 |

6. いちょう塾への講座提供

部会の皆様の協力を得て、今秋も「いちょう塾」に下記講座を提供します。

| 期 日 | 時 間 | テーマ | 講師(敬称略) |
|----------|------------|--|------------------|
| 9/29(土) | 15:20 ~ | 八王子の生き物栄枯盛衰 ~ 生物多様性とは何か ~ | 自然部会委員 須田 孫七 |
| 11/10(土) | 16:50 | 古事記1300年を活かし、神話のふるさと出雲へ ~ 神話から歴史へ・歴史から神話へ、~ | 原始・古代部会長 関 和彦 |